

事務事業及び予算の執行実績
(令和 7 年度分)
「一部、令和 6 年度分を含む」

静岡県立浜松城北工業高等学校

目 次

事務事業の概要	1
事務執行の根拠法令調	21
学校施設の概要	22
在籍生徒調	24
入学志願者及び入学者数調	26
卒業生の動向調	28
生徒の状況	31
授業料収納状況調	32
歳入予算執行状況調	33
県収入証紙により徴収した使用料及び手数料調	35
現金出納調	36
預金調	38
郵券等受払調	39
歳入歳出外現金調	40
歳出予算執行状況調	42
委託料等歳出予算執行状況節別集計表	48
委託料等歳出予算執行状況節別集計表	48
委託料に関する調	49
負担金支出調	51
建築工事調	54
公有財産調	56
借地借家等調	57
行政財産貸付・使用許可調	58
普通財産・借受財産等貸付調	59
職員公舎管理状況調	59
備品・図書調	60
主要備品調	64
職員調	66
職員の年齢調	69
健康管理	70

事務事業の概要

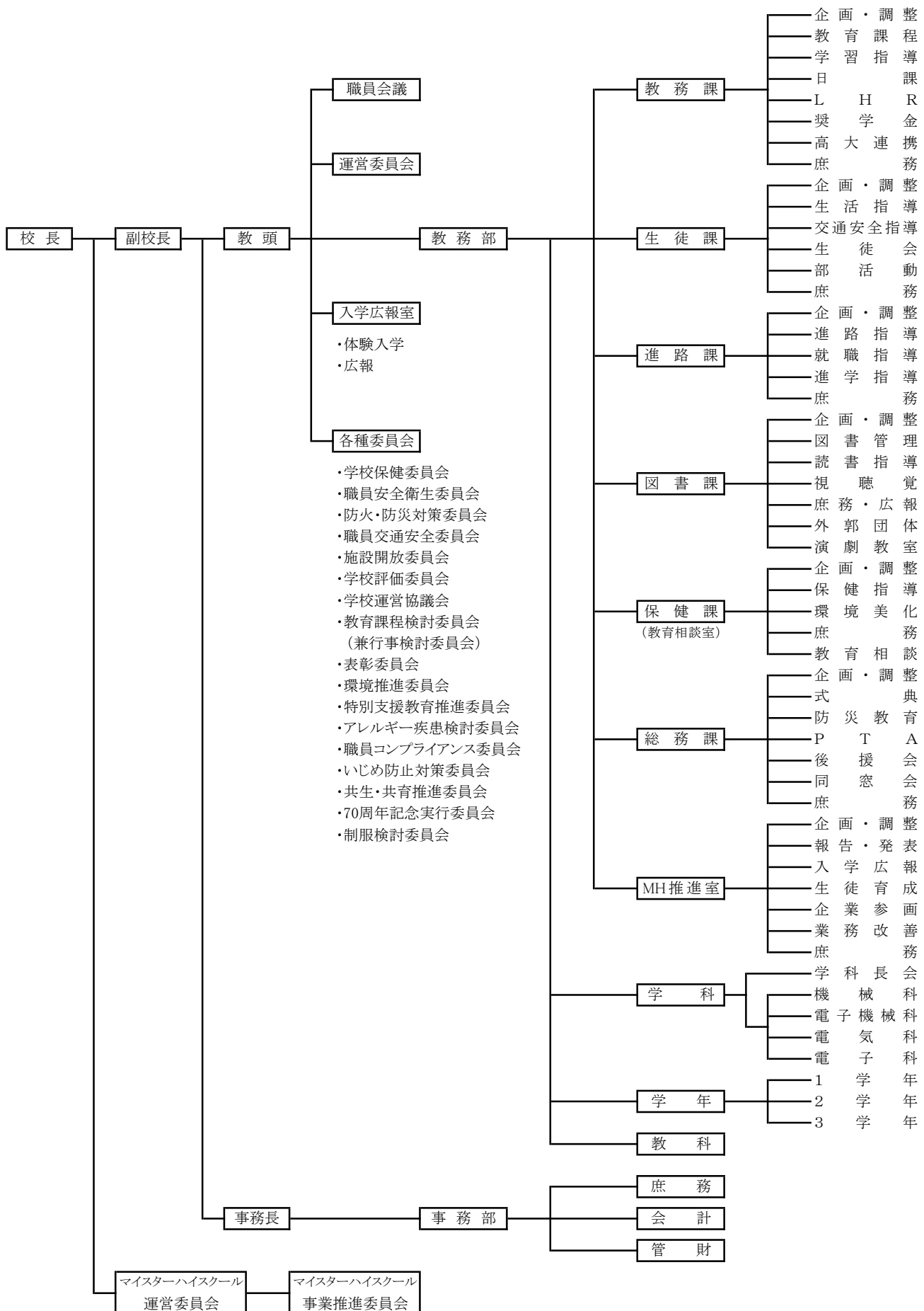
1 概況

(1) 学校の沿革

明治30年7月	浜名郡会において本校設立の件が議決され、文部大臣から設立認可を受け、静岡県浜名郡蚕業学校と称し、修業年限本科2か年、別科6か月と制定する。
明治35年3月	静岡県浜名郡立蚕業学校と改称する。
大正8年4月	県立に移管し、静岡県立蚕業学校と改称する。
昭和9年6月	静岡県立浜松農蚕学校と改称する。
昭和23年4月	静岡県立浜松農業高等学校と改称する。
昭和30年4月	農業機械コース及び農業土木コースを設置し、募集定員を各25人とする。 昭和30年4月1日を本校の開校元年とする。
昭和31年4月	農業機械コース及び農業土木コースに代えて農業機械科を設置し、募集定員を50人とする。
昭和32年4月	静岡県立浜松農工高等学校と改称し、工業課程を併置する。機械科募集定員を100人とする。
昭和33年4月	工業課程電気科を設置し、募集定員を50人とする。
昭和34年9月	電気実験棟新築落成
昭和36年4月	工業課程機械科募集定員を90人とする。
昭和37年4月	工業課程電気科募集定員を90人とする。
昭和38年4月	募集定員を農業課程農業機械科100人、工業課程機械科170人、工業課程電気科140人とする。
昭和39年3月	本館鉄筋コンクリート4階建16教室新築落成 機械実習工場新築落成
昭和39年4月	農業課程が静岡県立農業経営高等学校として分離し、本校は静岡県立浜松城北工業高等学校と校名を改称し、独立の工業高等学校として新発足する。募集定員を機械科210人、電気科130人とする。
昭和40年3月	電気実習棟増築落成
昭和41年4月	募集定員を機械科200人、電気科120人とする。 機械科実験棟鉄筋コンクリート3階建新築落成
昭和42年3月	本館第2期工事（普通教室8、校長室、事務室等）増築落成
昭和43年1月	体育館兼講堂新築落成
昭和43年4月	本館第3期工事（物理室、化学室、図書室、視聴覚室、生徒昇降所等）増築落成
昭和47年4月	電子科を設置し、募集定員を40人とする。電気科募集定員を80人とする。
昭和48年4月	格技場新築落成
昭和49年3月	電子科実験棟鉄筋コンクリート3階建新築落成
昭和54年3月	プール竣工（25m、8コース）

昭和55年4月	電子科募集定員を80人とする。
昭和55年10月	生活館新築落成
昭和56年3月	工業棟及び自転車置場新築落成
昭和57年1月	鋳鍛工場新築落成
昭和57年4月	機械科募集定員を160人とする。
昭和58年4月	機械科募集定員を200人とする。
昭和58年10月	本館耐震補強工事竣工
昭和58年12月	ブラスバンド・卓球練習場新築落成
昭和62年3月	新技術実習棟及び教室棟新築落成
昭和62年4月	電子機械科を設置し、募集定員を40人とする。
平成2年4月	機械科募集定員を120人、電子機械科募集定員を80人とする。
平成2年12月	テニスコート完成（2面）
平成3年3月	第二体育館及び東部室新築落成
平成8年4月	機械科募集定員を80人とする。
平成9年4月	機械科募集定員を120人とする。
平成12年2月	電気実験棟第1期建築工事落成
平成13年3月	電気実験棟落成
平成17年1月	体育館耐震補強工事竣工
平成17年4月	電気科募集定員を40人とする。
平成19年12月	本館及び生徒昇降所耐震補強工事竣工
平成20年9月	機械実験棟及び電子実験棟耐震補強工事竣工
平成23年3月	武道場耐震補強工事竣工
平成23年3月	自動車整備実習室・浜松特別支援学校城北分校新築落成
平成24年8月	機械実習工場・省エネ研究部室及びプール付属棟耐震補強工事等竣工
令和2年4月	電子機械科募集定員40名とする。
令和4年4月	文部科学省からマイスター・ハイスクール事業に指定される。 （令和7年3月まで）
令和6年4月	機械科募集定員を80人とする。

(2) 組織図



2 目指す学校像

(1) スクール・ミッション

校訓「誠実・勤労」、合い言葉「地球にやさしいエンジニアの育成」のもと、浜松地域に根差した工業高校として、地元企業との連携した教育を通して、社会で活躍できるスペシャリストの育成を目指す

(2) スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー～卒業までに育成する人～

- ① 責任を自覚し誠実で協調性に富み、社会の発展に貢献できる人
- ② 幅広い教養を持ち工業の見方・考え方を働かせることができる人
- ③ 将来の夢の実現に向けて、自分から進んで学ぶ人
- ④ 環境に関する視点をもつ地球にやさしいエンジニア

カリキュラム・ポリシー～本校の学び～

- ① 主体的、協働的な学びを通して課題解決に取り組む教育
- ② 教科及び工業の学びを通して知識・技術、思考力・判断力・表現力、学びに向かう力・人間性を育む教育
- ③ 将来の進路を見据えた教育
- ④ 社会貢献活動などの環境教育を通して環境意識を育む教育
- ⑤ 浜松型マイスター・ハイスクール事業を通じたロボティクス・デジタル人財の育成

アドミッション・ポリシー～本校が入学を求める人～

- ① 夢や目標に向かって、努力や挑戦を続ける意欲がある人
- ② 工業・情報・ロボット技術に関心があり、将来はエンジニアとして活躍し、社会の発展に貢献したいと考えている人
- ③ 学習・資格取得、部活動、学校行事・生徒会活動及び社会貢献活動に誠実かつ積極的に取り組む姿勢がある人

(3) スクール・ポリシー具現化の柱

ア 学習指導、イ 生活指導、ウ 進路指導、エ 部活動・特別活動等、オ 広報・外部との連携、カ 業務改善

3 監査対象期間の年度別学校経営の取組等

(1) 6年度の取組目標への評価及び成果と課題（ゴシックは重点目標）

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア	未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力を高める授業の実践	・「授業に、自分の考えを表現する場面や対話する場面が取り入れられていて、理解を深めることができる」と答えた生徒90%以上 ・授業アンケートで「授業が分かる」と答えた生徒80%以上 ・授業参観した教員100%	・前期 90.0% 後期 89.0% ・ 80.2(85.6%) ・ 80.9%(90.9)	B	・授業の理解度は向上しているが、会話を苦手としている生徒への対応を工夫したい。 ・アクト成果発表会での発表会を通じ、多くの生徒が自分の体験や学んだことを大観衆の前で表現することができた。 ・学習用端末の導入により視覚的に分かりやすい授業を実践し、良い成果を得た。 ・目標を達成できるように授業参観の周知を徹底したい。

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
		・観点別評価の着実な実施、具体的な評価規準の作成	・適切な観点別評価について各教科で検討した。		・新課程の観点別評価は着実に実施されている。 ・主体的態度の評価について検討が必要である。
	基礎力の定着、学習習慣の確立	「力がついたと実感できる」と答えた生徒 80%以上 - 学習時間調査で「1日の学習時間60分以上」と答えた生徒 70%以上 「進路を意識した具体的な取組をしている」と答えた生徒 80%以上	- 前期 83.2% 後期 88.5% ・65%(平均 34 分) - 前期 86.0% 後期 83.0%	B	- 達成 - 課題・宿題はやるが、自主的な学習が少ない。家庭学習の定着を意識付けたい。生徒によって学習時間の差が大きい。 - 達成 (昨年 前 79.5%、後 75.5%) 3者面談を通してクラス全員の進路を丁寧に説明し、取り組みを充実させた。
ア	資格取得・検定合格に向けた指導	技能検定合格 3級 60人以上 2級 5人以上	前期合格者 3級 76人(83) 2級 3人(1) 後期合格者 3級 人 2級 人	A	後期で達成予定。 (後期合格者の発表(3月)後に判断する。)
		電気工事士合格 2種 30人以上 1種 15人以上	合格者 第2種 19人(18) 第1種 15人(20)	B	・未達成。補習を朝・放課後の任意参加としているため参加者が減少した。生徒の意欲向上と試験の目的を伝える必要あり。
		情報技術検定合格 3級 70%以上 2級 50%以上	合格者 3級 77.0%(69.6) 2級 34.7%(48.1)	B	・2級は難易度が高く、一方で指導できる教員が減少したことで合格目標に届かなかった。
		計算技術検定 3級合格 80%以上	合格者 3級 88.5%(80.3)	A	・達成
		機械製図検定合格 30人以上	合格者 59人(41)	A	・達成

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
イ	基本的な生活習慣の確立、規範意識の育成、他者を尊重する態度の育成	・無遅刻者の割合 85%以上、遅刻延べ数前年度比 10%減 ・前年比半減（特に加害） ・交通事故ゼロ ・「校内スマホルールを守っている」と答えた生徒 95%以上 ・「自分も他の人も大切にしている」と答えた生徒 90%以上	・無遅刻率 78% (80) ・遅刻延べ数前年比 109%(124%) ・ 95%(99) ・ 95%(94)	B	・目標に届かなかった。（昨年度 80.0%） ・目標を達成できなかった。 ・事故 2 件減少、加害 1 件風邪、発熱、頭痛、腹痛、体調不良、通院、伝染病、精神的不調 ・高い割合を維持できている。 ・達成
	いじめや不登校生徒への相談体制の整備、教職員の対応能力向上	・いじめに関する調査を年 2 回実施 ・「信頼できる先生がいる」と答えた生徒 85%以上	・いじめに関する調査を 2 回実施。 ・ 86%(84)	A	・達成。 ・いじめフローチャートの作成、聞き取りシートの改訂により、発覚から再発防止までの一連の対応を迅速に行うことができた。 ・C ラーニングにより年間を通していじめの申し出が確率された
ウ	望ましい勤労観・職業観の育成、系統的なキャリア教育の展開	・「必要な進路情報が入手出来ている」と答えた生徒 85%以上 ・インターンシップに 60 人程度が参加し、生徒の自己評価 75 点以上及び企業の評価 A（良好）がともに 75%以上 ・1 次募集での内定率 85%以上、年内内定率 100%	・前期 93%(92) 後期 92%(91) ・インターン参加 79 人(90) ・自己評価 75 点以上 92%(93) ・企業評価 A 83% ・1 次募集内定率 93.7%(91.3) ・年内内定率 99.0%(99.4)	A	・達成 ・達成 ・インターンシップと同時期に開講されている学校設定科目「ロボティクス実習」のためインターンシップに参加する昨年より生徒数が少なくなっている。 ・未達成であるが企業の事情によるところが大きいので十分に目標を達成したといえる

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
エ	共生意識の醸成、特別支援教育の充実	・交流事業15件以上 ・特別配慮を必要とする全ての生徒について情報共有の場を設ける。	・クラス交流、行事等を合わせて15件の交流を実施できた。	A	・クラス、学年、学科など多岐にわたって交流を行っている。 ・全体では、対面式、体育大会、球技大会、防災訓練、文化祭で交流を行っている。 ・分校の定員増に伴い、交流に関わる生徒数が増加し、交流時間や交流場所の設定が難しくなっている。
	特別活動や部活動を通じた、協調性・積極性・達成感・忍耐力の育成	・「学校生活に達成感・満足感を持っている」と答えた生徒80%以上 ・「部活動に積極的に参加し、やりがいを感じる」と答えた生徒80%以上 ・休養日及び1日の活動時間を遵守した部活動の割合80%以上	・79%(87) ・61%(87) ・83%(78)	B	・未達成 ・未達成 本年度から部活動は1年生全員参加、2,3年生は任意登録になり、生徒の部活動への意識の変化が起きたのではないかと。アンケート項目の再考が必要。 ・達成
	読書活動を通じた知性・感性の育成	・「1か月間に1冊以上の本を読んだ」と答えた生徒70%以上	・76.9%(71)	A	・達成 ・朝読書が円滑に実施できたので、授業を開始する環境を整えることができ、読書への興味・関心を高めることができた。
	社会貢献活動を通じた社会性・人間関係形成能力の育成	・学校の社会体験活動等に参加した生徒50人以上	・10人(述べ40人)	C	・環境に対する学校全体の取組を推進する必要がある。活動が3年生の進路決定時期と重なるため3年生が活動に加わりにくい。

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
エ	環境意識の高揚	・「省エネや分別など環境を意識した行動をしている」と答えた生徒85%以上 ・ゴミの分別100% ・課題研究で環境意識を盛り込んだ取組を行う。	・ 86(85) ・ 100%には達しなかった。	A	・ 未達成 ・ 環境を意識した行動がとれた生徒は 86%で、目標は達成できた。ゴミの持ち帰りや、ペットボトルの分別など、きちんと意識して行動している生徒がほとんどであったが、放置されたままのペットボトルも時々目にした。分別 100%にはもう少し努力が必要である。 ・ 課題研究の授業では材料を廃材の再利用とし、廃棄時は分別処理し、リサイクルできるようにした。
	技術系各種競技大会への積極的参加	・ 各種大会での上位入賞	・ 各種大会で優秀な成績を収めた。	A	・【機械科】ものづくりコンテスト 東海大会旋盤作業部門に出場 ・【電子機械科】なし ・【電気科】ものづくりコンテスト 東海大会電気工事部門に 2 名出場 ・【電子科】ものづくりコンテスト 電子回路組立て部門東海大会に出場
オ	外部との連携強化	・ 学校運営協議会を 3 回実施 ・ マイスター・ハイスクールの実施計画書に記載した取組の着実な実施及び自走化に向けた準備	・ 3 回実施 ・ ロードマップにしたがって活動を実施できた。	A	・ 委員から多くの意見をいただき学校運営の参考となった。 ・ 運営委員会においてヤマハ発動機、浜松市、教育委員会の継続的な協力を得られることになった。

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
オ	中学校への 広報、 中高連携の 強化	・一日体験入学、学校公開への参加者の前年度比増 ・HPリニューアル、インスタグラム等の充実と更新頻度の向上 ・志願者数の増加	・学校公開等の参加者数 (8月)体験入学 中学生 416(394) 保護者 238(214) 計 654(582) (11月)授業公開 中学生 60(71) 保護者 25(40) 計 85(131) (12月)オープン スクール 中学生 188(155) 保護者 90(75) 計 278(218)	A	・11月の授業公開は目標を下回った。 ・中学校への出前授業（学校説明を含む）を22校で実施し、本校の魅力や特色を伝えることができた。 ・ホームページのリニューアルが完了し、スマートフォンからの閲覧も見やすく、学校の活動もブログ形式で掲載することが可能になった。
	保護者への 情報提供	・学習支援システムの生徒・保護者の登録率100%、学校の情報が分かりやすく伝えられていると答えた生徒・保護者が90%以上	・100%(91)	A	・達成 本年度からCラーニングにシステムを変更した。学校の内容が保護者に届くようになったと好評である。一方で登録したまま通知を読んでいない保護者への対応する必要がある。
	信頼される 事務室	・要望等への対応 100% ・会計を担当する教職員が円滑に業務を遂行	・要望に適切な対応を行った。	A	・窓口対応や電話対応、会計業務に対し、教職員間で連携を図り、トラブルから回避することができた。

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
カ	みんなで円滑処理、休暇は休もう	- 出張関係書類の漏れのない記載と期限内の提出 - ペーパーレス化により、業務が改善したと答えた教職員 70%以上 - 前年同月時間外在校時間を 5 %削減 - 夏季休暇の完全消化	- 記入漏れ(押印忘れ、出張時間未記入、経路変更チェック漏れ)が少数見受けられた 90.2%の教職員がペーパーレス化により業務が改善したと回答。(前年度 80.2%) - 前年同月時間外在校時間は 10.1%削減 - 夏季休暇は平均 4.9 日(5 日取得可能)	A	- 職員への適切な指導を行い記載ミス削減に努めた。 - 朝の打合せと運営委員会・職員会議のペーパーレス化を実現できた。 - 教科指導については全校生徒が一台端末を持つ環境となり、ペーパーレス化・デジタル化は着実に進んでいる。 - 呼びかけを行い、時間外在校時間を減らすことができた。また、多くの職員が夏季休暇の完全取得ができた。

(2) 7 年度 of 取組目標・達成方法・成果目標 (ゴシックは重点目標)

	取組目標	達成方法 (取組手段)	成果目標	担当部署
ア	未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力を高める授業の実践	- 自分の考えを表現する場面、対話する場面を設け、自ら考え理解を深める機会を多く設定する。 - 教員相互の授業参観及び生徒アンケート等を通して授業改善を推進する。 1 人 1 台端末に対応した授業を行う。 - 授業改善や学習評価に関する研修を実施する。	「授業に、自分の考えを表現する場面や対話する場面が取り入れられていて、理解を深めることができる」と答えた生徒90%以上 - 授業アンケートで「授業が分かる」と答えた生徒80%以上 - 教員相互の授業参観 100% - 観点別評価の着実な実施、具体的な評価規準の作成	教 務 各教科 MH 推進室

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	基礎力の定着、学習習慣の確立	・知識、技術の定着を強化する。 ・基礎力診断テストを「高校生のための学びの基礎診断」に位置付け、活用する。 ・読解力を高める機会を多く設定する。 ・放課後テストを年間20回程度実施する。 ・進路目標を早めに明確にさせ、学習に対する意識を高める。	・「力がついたら実感できる」と答えた生徒 80%以上 ・国語、数学、英語、理科、地歴公民で基礎力診断テストの分析結果を授業改善に活用 ・学習時間調査で「1日の学習時間 60 分以上」と答えた生徒 70%以上 ・「進路を意識した具体的な取組をしている」と答えた生徒 80%以上	教 務 進 路 各学年 各教科
	資格取得・検定合格に向けた指導	・理解度に応じた個別指導を実施する。	・技能検定合格 3級 60 人以上／2 級 5 人以上 ・電気工事士合格 2 種 30 人以上／1 種 15 人以上 ・情報技術検定合格 3 級 70%以上／2 級 50%以上 ・計算技術検定 3 級合格 80%以上 ・機械製図検定合格 30 人以上	各 科 特定部活
イ	基本的生活習慣の確立、規範意識の育成、他者を尊重する態度の育成	・教職員が連携して、指導を徹底する。 ・集会等の機会をとらえた効果的な指導、外部人材による指導を行う。 ・授業規律の確立、自分とは異なる他者を尊重・受容する集団づくりを行う。 ・人権教育、道徳教育を推進する。	・無遅刻者の割合85%以上、遅刻延べ数前年度比10%減 ・交通事故前年比半減（特に加害） ・「校内スマホルールを守っている」と答えた生徒95%以上 ・「自分も他の人も大事にしている」と答えた生徒90%以上	生 徒 教 務 各学年
	いじめや不登校生徒への相談体制の整備、教職員の対応能力向上	・生徒情報を相互提供し、共有する。 ・教職員間の連携を図り、研修を行う。 ・いじめの未然防止・早期発見・早期対応のため、調査等を実施する。	・いじめに関する調査を年 2 回実施（学習支援システム等の活用） ・「信頼できる先生がいる」と答えた生徒85%以上	生 徒 保 健 教 務 各学年
ウ	望ましい勤労観・職業観の育成、系統的なキャリア教育の展開	・3年間を見通したキャリア教育計画を策定し、実施する。 ・進路情報に関し、ニーズを把握し、タイムリーな情報提供を行う。 ・外部講師の活用により進路意識や国際化への意識を高める。 ・社会状況に応じた的確な就職支援、効果的な進学指導を実施する。 ・浜松型マイスター自走化事業を活用する。	・「必要な進路情報が入手できている」と答えた生徒85%以上 ・インターンシップに60人程度が参加し、生徒の自己評価75点以上及び企業の評価A（良好）がともに75%以上 ・1次募集での内定率85%以上、年内内定率100%	進 路 各学年 MH 推進室
エ	共生意識の醸成、特別支援教育の充実	・浜松特別支援学校城北分校との交流活動を活発に行う。 ・特別な配慮を必要とする生徒に対して、適切な支援を行う。	・交流事業15件以上 ・特別配慮を必要とする全ての生徒について情報共有の場を設ける。	各学年 各 科 特定部活 管理職 保 健
	特別活動や部活動を通じた、協調性・積極性・達成	・生徒が活躍する学校行事を目指す。 ・生徒の成長を促す部活動を実践する。	・「学校生活に達成感・満足感を持っている」と答えた生徒 80%以上 ・部活動加入生徒が「部活動に積極的に参加し、やりがいを感じ	生 徒 各学年 各部活

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
	感・忍耐力の育成	・部活動ガイドラインに沿った運営を行う。	る」と答えた生徒80%以上 ・休養日及び1日の活動時間を遵守した部活動の割合80%以上	
	読書活動を通じた知性・感性の育成	・朝読書を徹底し、朝から落ち着いた学習環境を整備する。	・「1か月間に1冊以上の本を読んだ」と答えた生徒70%以上	図 書 各学年
	社会貢献活動を通じた社会性・人間関係形成能力の育成	・遠州灘ウエルカメクリーン作戦や浜名湖クリーン作戦、里山の保全活動など、ボランティアへの参加を呼びかける。	・学校の社会貢献活動等に参加した生徒 50 人以上	環境部 各学年 教 務
	環境意識の高揚	・教室の学習環境を整備する。 ・ゴミの分別を徹底する。 ・ゴミの持ち帰りと減量を図る。 ・課題研究等の授業で環境負荷を低減する意識を高める。	・「省エネや分別など環境を意識した行動をしている」と答えた生徒85%以上 ・ゴミの分別100% ・課題研究で、生産行為、製品使用時及び廃棄時等に SDGs に繋がる取組を行う。	保 健 各学年 各 科
	技術系各種競技大会への積極的参加	・県高校生競技大会（ものづくり・ロボット・エコラン）などに、周知な準備により積極的に参加する。	・各種大会での上位入賞	各 科 特定部活
オ	外部との連携強化	・学校運営協議会を開催する。 ・浜松型マイスター自走化事業の実施計画を策定し自走化に向けた取組を行う。	・学校運営協議会を3回実施（意見等を学校運営に反映） ・浜松型マイスター自走化事業のCEO及び産業実務家教員と協力し、浜松市や地元企業、大学等との連携を拡げる。	管理職 総 務 MH 推進室
	中学校への広報、中高連携の強化	・一日体験入学、学校公開をさらに充実させる。 ・中学校訪問、出前授業等により本校の強み・良さを発信する。 ・学校HP、Instagramに最新の情報を提供し、利用者の利便を図る。	・一日体験入学、学校公開への参加者の前年度比増 ・HPリニューアル、Instagram等の充実と更新頻度の向上 ・志願者数の増加	管理職 入学広報 各 科 教 務 各部活 MH 推進室
	保護者への情報提供	・学習支援システムを活用し、学校からの情報提供と保護者・生徒との情報共有を推進する。	・学習支援システムの生徒・保護者の登録率 100%、学校の情報が分かりやすく伝えられていると答えた生徒・保護者が 90%以上	教 務
	信頼される事務室	・保護者、来訪者及び地域住民等への迅速・丁寧・適切な対応を徹底する。 ・学校の教育活動に係るすべての経費を適切に執行する。	・要望等への対応 100% ・会計を担当する教職員が円滑に業務を遂行	事務室
カ	みんなで確実かつ円滑処理	・出張関係書類等の書き方の再確認。 ・外部に出す書類、データ等の再確認。 ・情報資産を適切に管理する。 ・書類等の提出期限を再確認。	・出張関係書類等の漏れのない記載と期限内の提出 ・情報漏洩なし ・ICT 活用、ペーパーレス化に	全職員

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
		・ ICT 活用、ペーパーレスを推進し、業務の効率化、業務マニュアル作成等の改善を図る。	より、業務が改善したと答えた教職員 70%以上	
	時間外在校時間の削減、休暇取得で休もう	・ 勤務時間管理システムを活用して退勤時間を早めることを呼びかける。 ・ 夏季休暇の完全消化を呼びかける。	・ 前年同月時間外在校時間を 5 %削減 ・ 夏季休暇の完全消化	全職員

4 監査対象期間における特色ある取組

年度	取 組 概 要	成 果 及 び 課 題
6 年度	就職者 7 割であることを意識した、社会の発展に貢献できる有為な工業技術者の育成を目指した教育 ・ 基礎学力の定着 ・ 思考力・表現力を高める指導 ・ 工業系技術・技能の育成 ・ 基本的生活習慣の確立、規範意識の育成 ・ 部活動の充実	・ 新型コロナウイルス感染拡大防止対策をとりながら、放課後テストの実施や、相互授業参観を積極的に行うことで授業改善を図った。 ・ 基礎力診断テストを「高校生のための学びの基礎診断」に位置付け、国数英の全教員がテストの分析結果を授業改善に活用を進めた。 ・ 朝読書の徹底を図り、落ち着いた学習環境づくりの構築を進めた。
	望ましい勤労観・職業観の育成等、キャリア教育の展開	・ 年間指導計画に基づいて実施しながら、内容を精査し、指導を進めている。 ・ 3 年生では進路希望を実現させるため、全教員による面接指導など、丁寧な指導を心掛けた。 ・ 2 年生ではインターンシップや職場見学を実施し、外部機関とも連携を図り、望ましい勤労観・職業観の育成を行った。
	「ボランティア活動」と「ものづくり」を通した実践的環境教育活動（1991 年からの継続的取組）	・ 校内のリサイクルステーションにて、段ボールや雑紙、ペットボトルを回収し、外部のリサイクル業者と連携して、リサイクルを行った。 ・ ものづくりの部活動や課題研究で使用する鉛蓄電池を収集し、引き取り業者を通じて資源のリサイクルを行った。 ・ ウェルカメクリーン作戦および浜名湖クリーン作戦への参加や防潮堤の育樹と捕植に参加し、海岸の環境美化に務めた。 ・ 富塚椎ノ木谷特別緑地保全地区にて、森林の保護活動を行った。
	浜松特別支援学校城北分校との交流による共生・共育と、特別支援教育の充実	・ 分校交流活動は、年間において、1 年生の LHR（ポッチャ）で 3 回、2 年生の授業交流で 3 回実施した。 ・ 城北分校のコーディネーターに生徒の授業見学をしてもらい、授業における困り感を持った生徒の支援について助言をもらった。 ・ 教職員の研修で「特別支援について」分校コーディネーターを講師に招き、専門的な視点での支援方法を学び、スキルの向上を図った。
	コミュニティ・スクールの導入	・ 学校運営協議会を年 3 回実施した。 ・ 第 1 回協議会において、前年度の学校経営報告と今年度の学校経営計画についての承認を得た。第 2 回協議会では、実施の生徒の活動等を視察していただき意見等をいただき、第 3 協議会では、学校運営に関する評価等の意見等をいただいた。 ・ 学校と地域をつなぐ機関として、その役割を確立していく方針。

年度	取 組 概 要	成 果 及 び 課 題
	資格・検定試験およびものづくり競技大会等への積極的な取組	・授業や部活動、放課後の指導等を通して各種資格取得や検定への意欲を高め、積極的に取り組んだ。 ・技能を高めるため、ものづくり競技大会へ積極的に参加した。 ・第23回高校生ものづくりコンテスト東海大会 旋盤部門 第6位 □□□□□□ 電気工事部門 第3位 □□□□□□ 第4位 □□□□□□
7年度	就職者7割であることを意識した、社会の発展に貢献できる有為な工業技術者の育成を目指した教育 ・基礎学力の定着 ・思考力・表現力を高める指導 ・工業系技術・技能の育成 ・基本的生活習慣の確立、規範意識の育成 ・部活動の充実	・学習用端末の活用や、相互授業参観を積極的に行うことで授業改善を図っていく。 ・基礎力診断テストを「高校生のための学びの基礎診断」に位置付け、国数英の全教員がテストの分析結果を授業改善に活用していく。 ・朝読書の徹底を図り、落ち着いた学習環境づくりを構築を進めていく。
	望ましい勤労観・職業観の育成等、キャリア教育の展開	・年間指導計画に基づいて実施しながら、内容を精査し、指導を進めていく。 ・3年生では進路希望を実現させるため、全教員による面接指導など、丁寧な指導を心掛ける。 ・2年生ではインターンシップや職場見学を実施し、外部機関とも連携を図り、望ましい勤労観・職業観の育成を行う。
	「ボランティア活動」と「ものづくり」を通した実践的環境教育活動（1991年からの継続的取組）	・校内のリサイクルステーションにて、段ボールや雑紙、ペットボトルを回収し、外部のリサイクル業者と連携して、リサイクルを行う。 ・ものづくりの部活動や課題研究で使用する鉛蓄電池を収集し、引き取り業者を通じて資源のリサイクルを行う。 ・ウエルカメクリーン作戦および浜名湖クリーン作戦への参加や防潮堤の育樹と捕植に参加し、海岸の環境美化に務める。 ・富塚椎ノ木谷特別緑地保全地区にて、森林の保護活動を行う。
	浜松特別支援学校城北分校との交流による共生・共育と、特別支援教育の充実	・分校交流活動は、年間において、1年生のLHR（ボッチャ）で3回、2年生の授業交流で3回を予定している ・城北分校のコーディネーターに生徒の授業見学をしてもらい、授業における困り感を持った生徒の支援について助言をもらう計画である。 ・教職員の研修で「特別支援について」分校コーディネーターを講師に招き、専門的な視点での支援方法を学び、スキルの向上を図る計画である。
	コミュニティ・スクールの導入	・学校運営協議会を年3回実施する計画で、6月に第1回を開催した。 ・第1回協議会において、前年度の学校経営報告と今年度の学校経営計画についての承認を得た。また、学校運営に関する意見等をいただいた。 ・学校と地域をつなぐ機関として、その役割を確立していく方針。
	資格・検定試験およびものづくり競技大会等への積極的な取組	・授業や部活動、放課後の指導等を通して各種資格取得や検定への意欲を高め、積極的に取り組んでいく。 ・技能を高めるため、ものづくり競技大会へ積極的に参加していく。 ・第24回高校生ものづくりコンテスト東海大会 旋盤部門 準優勝 □□□□□□ 第6位 □□□□□□ 電気工事部門 第2位 □□□□□□ 電子回路組立て部門 出場 □□□□□□

5 教職員について

(1) 令和6年度異動状況

(単位：人)

区分 \ 職名	校長	副校長	教頭	教諭	養護教諭	主任実習助手	実習助手	実習助手(任期)	事務長	主事	教諭(臨時)	非常勤講師	非常勤労務職員	非常勤嘱託員	合計
転出		1	1	6	1	1				1	1				12
退職				3				1	1		1	2	1	1	10
転入		1	1	7	1				1						11
新任							1			1	1	3	1	1	8
役職定年															
差引増減				-2		-1	1	-1			-1	1			-3

(2) 現員数(令和7年7月31日現在)

(単位：人)

職名	校長	副校長	教頭	教諭	教諭(任期)	養護教諭	実習助手	事務長	主査	主事	技能長	小計	教諭(臨時)	主事(臨時)	外国語指導講師	非常勤講師	非常勤労務職員	非常勤嘱託員	小計	合計
計	1	1	1	56	1	1	3	1	2	1	1	69	3	1	1	15	2	1	23	92

(3) 健康管理について

【令和6年度】

ア 健康診断

結核検診、生活習慣病検診、指定年齢検診、人間ドック、婦人科検診、脳ドック等、適切な健康診断の受診を全員に勧め、疾病の早期発見に努める。また、要精密者に対して早期の受診を促す。

イ 職員安全衛生委員会等

(ア) 職員安全衛生委員会を月1回実施し、各科職員室、教室の教職員の安全衛生や職場環境等に関する状況を把握し、検討・改善に努める。

(イ) 消防士による救命救急法講習会を実施し、職員が緊急時に対応できるための技術の取得や安全の確保につなげる。

(ウ) 健康管理医が必要に応じ、職員の健康相談を実施する。

- (エ) 月ごとに長時間労働の調査をする。また、その理由を把握し、改善を図る。
- (オ) 定時退勤日には、朝の打合せで周知し、その実施を促進する。
- (カ) 教職員の健康づくりのため、講師を招き「腰痛・肩こりストレッチ」の講習会を実施する。

【令和7年度】

ア 健康診断

結核検診、生活習慣病検診、指定年齢検診、人間ドック、婦人科検診、脳ドック等、適切な健康診断の受診を全員に勧め、疾病の早期発見に努める。また、要精密者に対して早期の受診を促す。

イ 職員安全衛生委員会等

- (ア) 職員安全衛生委員会を月1回実施し、各科職員室、教室の教職員の安全衛生や職場環境等に関する状況を把握し、検討・改善に努める。
- (イ) 消防士による救命救急法講習会を実施し、職員が緊急時に対応できるための技術の取得や安全の確保につなげる。
- (ウ) 健康管理医が必要に応じ、職員の健康相談を実施する。
- (エ) 月ごとに長時間労働の調査をする。また、その理由を把握し、改善を図る。
- (オ) 定時退勤日には、朝の打合せで周知し、その実施を促進する。
- (カ) 教職員の健康づくりのため、講師を招きアンガーマネジメントに関する講習会を実施する。

(4) 教職員の研修について

【令和6年度】

ア 年間研修

(ア) テーマ：新学習指導要領に対応した指導と評価

目 的：新学習指導要領の趣旨に沿った学習指導を意識し、本校生徒の育成目標に沿った学習活動に改善していく。

内 容：新学習指導要領に沿った指導や評価の方法を研究授業等で確認する。また、授業参観や学期末の評価において指導の方法や評価の在り方をお互いに確認する。

成果と課題：新学習指導要領に対応するため、思考・判断・表現の観点を特に意識して授業や定期試験を工夫している様子が見られた。今後もこれらのことを継続し、さらなる分析が必要であろう。

(イ) テーマ：特別支援教育

目 的：多様な生徒を教育する場として、全教員が個に応じた適切な指導ができるように、特別支援教育に対する意識を高める。

内 容：校内研修として、城北分校の教諭による研修を行う。また、生徒の人権に配慮するための研修を行う。

成果と課題：分校の先生による特別支援教育の研修を行うことができた。アンケート結果も非常に前向きな意見が多かった。これからも定期的にお互いの情報提供を行うことができればと思う。

(ウ) テーマ：ICTの学習指導への活用

目的：生徒の一人一台端末の効果的な活用をするために、職員全員が効果的な情報発信や情報共有ができるようスキルアップする。新学習指導要領の趣旨に合ったICT活用ができるようにする。

内容：一人一台端末の活用のための研修を行う。端末を活用した対話や協働的な活動を行う方法や、効率的な情報共有や情報収集のための情報提供をする。

成果と課題：今年度から一人一台端末が導入され、校内でも徐々にアプリ・WEBを効果的に使って思考・対話をさせている光景が見られた。しかし、多くの先生方まだ有効的に活用できていないと思われる。

イ その他の研修

(ア) テーマ：教職員の資質・識見向上

目的：学校外研修等に参加した教員の研修内容を全職員へ還元し、現代の教育における最新のテーマ等への理解を深める。

内容：教職員の資質・識見として必要と思われる情報伝達を行い、資質・識見の向上を図る。また、工業教育や不祥事根絶に関する情報提供をする。

成果と課題：：学習指導・観点別評価・人権教育に加えて、不祥事根絶に関わる資料も提供した。また、情報漏洩やセキュリティに関する情報提供も行うことができた。

【令和7年度】

ア 年間研修

(ア) テーマ：救急救命法講習

目的：傷病者が発生した場合、その場に居合わせた人が応急手当を速やかに行えば、救命効果の向上・治療の経過にも良い影響を与える。そのためにも応急手当に関する知識と技術を学ぶ。

内容：消防署職員による説明、実際に人形を使った心臓マッサージ・グループでのAEDの装着等を行う。

(イ) テーマ：特別支援教育

目的：多様な生徒を教育する場として、全教員が個に応じた適切な指導をすることができるよう、特別支援教育に対する意識を高める。

内容：校内研修として、城北分校の教諭による生徒の人権に配慮するための研修を行う。

(ウ) テーマ：新学習指導要領に対応した指導と評価とICTの活用

目的：新学習指導要領の趣旨に沿った学習指導を意識・確認し、本校生徒の育成目標に沿った学習活動に改善していく。

学習用端末の効果的な活用と授業支援システム(Cラーニング)をするために、使い方の研修会や情報共有を行う。

内容：新学習指導要領に沿った指導や評価の方法を研究授業等で確認し、授業参観や学期末の評価において指導の方法や評価の在り方を確認する。

学習用端末を活用した対話や協働的な活動を行う方法や、効率的な情報共有や情報収集のための情報提供をする。

イ その他の研修

(ア) テーマ：教職員の資質向上

目 的：学校外研修等に参加した教員の研修内容を全職員へ還元し、最新のテーマ等への理解を深める。

内 容：教職員の資質として必要と思われる情報伝達を行い、向上を図る。また、工業教育や不祥事根絶に関する情報提供をする。

6 防災対策について

(1) 防災訓練について

ア 成果と課題

令和6年度は、第1回防火・防災訓練は避難訓練と運動場での防災隊編成など、予定通り実施した。第2回防火・防災訓練は、避難訓練と運動場での帰宅班の確認など、予定通り実施した。第3回防火・防災訓練は避難訓練を予定通り実施した。

令和7年度は、第1回防火・防災訓練は避難訓練と運動場での防災隊編成など、予定通り実施した。第2回防火・防災訓練は避難訓練と運動場での帰宅班の確認など、予定通り実施した。年3回の防災訓練は実践的な内容を多く含み、充実した内容で行うことを目標としている。また、敷地内にある浜松特別支援学校城北分校も本校の防災訓練に参加しており、緊急時の対応について、分校とさらに情報を共有していく。

【令和6年度】

緊急時に備え、次のとおり訓練等を行った。それぞれの訓練で実践的な内容を取り入れ、職員・生徒の防災意識を高めることができた。

項 目	実施日	実 施 内 容
地区別帰宅班編成集会	4月18日	・29地区別に帰宅班を編成 ・責任者の任務などの確認 ・「帰宅経路図」の作成 (生徒・教職員 828人)
第1回防火・防災訓練	4月23日	・地震発生時の避難訓練、防災隊編成 (生徒・教職員 828人)
第2回防火・防災訓練	8月30日	・地震の総合防災訓練 ・帰宅班の確認 他 (生徒・教職員 828人)
地域防災訓練	12月1日	・各地域での防災訓練に参加
第3回防火・防災訓練	12月13日	・地震の総合防災訓練 ・安否確認訓練 (生徒・教職員 828人)

【令和 7 年度】

次のとおり訓練等を行い、防災意識の高揚を図り、緊急時に備える。特別支援学校城北分校も参加し、合同の避難訓練等を実施する。

項 目	実施日	実 施 内 容
地区別帰宅班編成集会	4 月 17 日	・ 29 地区別に帰宅班を編成 ・ 責任者の任務などの確認 ・ 「帰宅経路図」の作成 (生徒・教職員 807 人)
第 1 回防火・防災訓練	4 月 22 日	・ 地震発生時の避難訓練、防災隊編成 (生徒・教職員 807 人)
第 2 回防火・防災訓練	8 月 29 日	・ 地震の総合防災訓練 ・ 帰宅班の確認 他 (生徒・教職員 807 人)
地域防災訓練	11 月 30 日	・ 各地域での防災訓練に参加予定
第 3 回防火・防災訓練	12 月 12 日	・ 火災に対する避難訓練 ・ 安否確認訓練 (生徒・教職員 807 人予定)

(2) その他の防災対策

【令和 6 年度】

- ア 学校警備及び防災計画書の改訂・配備を行った。
- イ 生徒地区別帰宅名簿・緊急連絡網の作成・配備を行った。
- ウ 1 年生とその保護者について、保護者、生徒及び教職員への登録促進を図った。
- エ 防災倉庫・防火設備の点検を行った。
- オ 南海トラフ地震情報の提供にともない、職員・生徒に提供内容の周知を行った。
- カ C ラーニングを使った緊急時の連絡体制を構築した。

【令和 7 年度】

- ア 学校警備及び防災計画書の改訂・配備を行い、職員に周知する。
- イ 生徒地区別帰宅名簿・緊急連絡網を作成し、配備を行う。
- ウ 全校生徒・保護者について、C ラーニングの登録を促進する。
- エ 防災倉庫・防火設備の点検・整備を行う。
- オ 南海トラフ地震に備え、防災計画や避難地になったことを想定した備蓄品等の点検・見直しを行う。
- カ C ラーニングや Google Chat を使った緊急時の連絡体制を構築する。

7 学校開放について

地域住民の社会教育活動、スポーツ活動の振興のため施設を開放した。

年 度		令和 6 年度			令和 7 年度 (7 月 31 日現在)		
区 分							
施設名	利 用 内 容	利用 日数	利用 者数	利用者 負担金 (電気 料)	利用 日数	利用 者数	利用者 負担金 (電気 料)
武道場	剣道	125	6,705	20,137	48	2,620	4,945
	空手	78	1,357	12,546	31	488	3,107
	柔道	4	64	560	2	28	101
第一体育館	バレーボール	0	0	0	6	69	595
	バスケットボール	152	1,590	20,061	40	433	3,498
第二体育館	器械体操	141	1,423	69,577	45	467	12,643
計		500	11,139	122,881	172	4,405	24,889

事務執行の根拠法令調

項 目	根 拠 法 令
1 学校教育に関する こと	教育基本法（第1条、第2条） 学校教育法（第1条、第2条、第3条、第50条、第51条、 第52条、第60条） 学校教育法施行規則 学校保健安全法（第5条） 産業教育振興法（第18条） 産業教育振興法施行令 理科教育振興法（第11条） 理科教育振興法施行令 静岡県立学校設置条例 静岡県立高等学校学則 高等学校学習指導要領
2 学校の管理・運営に 関すること	学校教育法（第137条） 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（第33条） 静岡県立学校管理規則 学校保健安全法（第15条、第27条） 独立行政法人日本スポーツ振興センター法（第16条、第17条） 社会教育法（第43条、第45条、第47条、第48条） 教育公務員特例法（第21条、第22条） 学校図書館法（第3条、第4条） 高等学校等就学支援金の支給に関する法律 静岡県立学校の授業料等の徴収に関する条例 静岡県立学校授業料等徴収規則 静岡県手数料徴収条例 静岡県高等学校等教育資金及び高等学校等奨学金貸与規則 静岡県教育委員会処務規程 静岡県教育委員会事務決裁規程 静岡県教育委員会職員安全衛生管理規程 静岡県立学校の施設等の開放に関する要綱 静岡県情報公開条例施行規則

□□□□□□

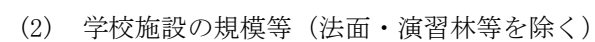
学 校 施 設 の 概 要

1 面積及び所有区分

(令和7年7月31日現在)

区 分		面 積	所 有 内 訳					摘 要
			県 有	国 有	市町村有	後援会有	民 有	
学 校 敷 地		m ² 55,254.91	m ² 55,254.91	m ²	m ²	m ²	m ²	
内 訳	校舎敷地	32,950.37	32,950.37					
	運動場敷地	20,536.18	20,536.18					
	その他の敷地	1,768.36	1,768.36					
校 舎		建 3,874.11 延 11,514.70	建 3,874.11 延 11,514.70					
体 育 館		建 2,425.91 延 2,604.52	建 2,425.91 延 2,604.52					
武 道 場		建 637.59 延 776.18	建 637.59 延 776.18					
その他の建物		建 4,914.89 延 5,418.40	建 4,299.47 延 4,496.69			建 615.42 延 921.71		県有 本校 4,090.68m ² 4,287.90m ² 自動車整備実習室 (浜松特別支援学校 使用承認) 208.79m ² 208.79m ²
生 活 館		建 359.45 延 579.71				建 359.45 延 579.71		
プ ー ル		個 1	個 1					25m×16m 8 コース
職 員 住 宅		戸 4	戸 4					

(1) 校舎等の配置図



- 23 -

□□□□□□

在 籍 生

(7年7月31日現在)

学年	学科別 区分		機械科				電子機械科			
			定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	計
1 年	入 学 者		80	83	1	84	40	37	5	42
		増 加								
		減 少								
	現 在			83	1		84	37	5	42
2 年	入 学 者		80	76	3	79	40	38	4	42
		増 加								
		減 少								
	2 年時当初			76	3		79	38	4	42
		増 加								
		減 少								
	現 在			76	3		79	38	4	42
3 年	入 学 者		120	103	7	110	40	39	2	41
		増 加								
		減 少		2	1		3			
	2 年時当初			101	6		107	39	2	41
		増 加		1						
		減 少		1			1	1	2	
	3 年時当初			101	6		107	38	1	39
		増 加								
		減 少								
	現 在			101	6		107	38	1	39
合 計				260	10	270		113	10	123

徒 調

電気科				電子科				(合 計)			
定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	合計
40	40	2	42	80	79	5	84	240	239	13	252
	40	2	42		79	5	84		239	13	252
40	37	3	40	80	76	7	83	240	227	17	244
					3		3		3		3
	37	3	40		73	7	80		224	17	241
	37	3	40		73	7	80		224	17	241
40	33	1	34	80	57	6	63	280	232	16	248
					1		1		3	1	4
	33	1	34		56	6	62		229	15	244
									1		1
									2	1	3
	33	1	34		56	6	62		228	14	242
	33	1	34		56	6	62		228	14	242
	110	6	116		208	18	226		691	44	735

□□□□□□

入学志願者及び

区 分		3 年度					4 年度				
学 科 別		機械科	電子 機械科	電気科	電子科	計	機械科	電子 機械科	電気科	電子科	計
生徒定員 (A)		120	40	40	80	280	120	40	40	80	280
募集者数 (B)		120	40	40	80	280	120	40	40	80	280
志願者数	男	96	36	25	71	228	111(2)	36	39	70	256(2)
	女	2	0	1	5	8	5	5	0	8	18
	計 (C)	98	36	26	76	236	116(2)	41	39	78	274(2)
受検者数	男	96	36	25	71	228	111(2)	36	39	70	256(2)
	女	2	0	1	5	8	5	5	0	8	18
	計 (D)	98	36	26	76	236	116(2)	41	39	78	274(2)
合格者数	男	96	36	25	71	228	111(2)	36	39	70	256(2)
	女	2	0	1	5	8	5	5	0	8	18
	計 (E)	98	36	26	76	236	116(2)	41	39	78	274(2)
志願倍率 (C)/(B)		0.82	0.90	0.65	0.95	0.84	0.97	1.03	0.98	0.98	0.98
受検倍率 (D)/(B)		0.82	0.90	0.65	0.95	0.84	0.97	1.03	0.98	0.98	0.98
入学者数	男	96	35	25	71	227	113	36	39	70	258
	女	2	0	1	5	8	5	5	0	8	18
	計 (F)	98	35	26	76	235	118	41	39	78	276
充足率 (F)/(A)		0.82	0.88	0.65	0.95	0.84	0.98	1.03	0.98	0.98	0.99

入学者数調

5 年度					6 年度					7 年度				
機械科	電子 機械科	電気科	電子科	計	機械科	電子 機械科	電気科	電子科	計	機械科	電子 機械科	電気科	電子科	計
120	40	40	80	280	80	40	40	80	240	80	40	40	80	240
120	40	40	80	280	80	40	40	80	240	80	40	40	80	240
104	39	33	57	233	76	38	37	76	227	89	38	41	81	249
7	2	1	6	16	3	4	3	7	17	1	5	2	5	13
111	41	34	63	249	79	42	40	83	244	90	43	43	86	262
104	39	33	57	233	76	38	37	76	227	89	38	41	81	249
7	2	1	6	16	3	4	3	7	17	1	5	2	5	13
111	41	34	63	249	79	42	40	83	244	90	43	43	86	262
103	39	33	57	232	76	38	37	76	227	83	37	40	79	239
7	2	1	6	16	3	4	3	7	17	1	5	2	5	13
110	41	34	63	248	79	42	40	83	244	84	42	42	84	252
0.93	1.03	0.85	0.79	0.89	0.98	1.05	1.00	1.03	1.01	1.13	1.08	1.08	1.08	1.09
0.93	1.03	0.85	0.79	0.89	0.98	1.05	1.00	1.03	1.01	1.13	1.08	1.08	1.08	1.09
103	39	33	57	232	76	38	37	76	227	83	37	40	79	239
7	2	1	6	16	3	4	3	7	17	1	5	2	5	13
110	41	34	63	248	79	42	40	83	244	84	42	42	84	252
0.92	1.03	0.85	0.79	0.89	0.98	1.05	1.00	1.03	1.01	1.05	1.05	1.05	1.05	1.05

□□□□□□

卒 業 生 の

1 進路状況

学 科 別		機械科			電子機械科		
年 度		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
卒業生徒数		119	95	110	38	35	40
内 訳	(進学志願者)	(26)	(23)	(16)	(19)	(7)	(11)
	進 学 者						
	大学・短大	6	12	6	10	3	7
	専修学校	19	11	10	6	4	4
	小 計	25	23	16	16	7	11
	就職者	91	71	94	19	28	29
	自営者	0	0	0	0	0	0
	進学準備者	1	0	0	3	0	0
	その他	2	1	0	0	0	0
合 計		119	95	110	38	35	40

2 求人状況（全日制のみ）

区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
就職希望者数	181	160	198
求 人 数	3,164	3,609	3,295
求人倍率	17.48	22.55	16.64

動 向 調

電気科			電子科			(計)		
令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
31	25	38	76	74	74	264	229	262
(2)	(8)	(8)	(33)	(28)	(29)	(80)	(66)	(64)
2	4	7	21	12	18	39	31	38
0	3	1	11	16	9	36	34	24
2	7	8	32	28	27	75	65	62
29	17	30	42	44	45	181	160	198
0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	1	0	1	0	2	5	1	2
0	0	0	1	2	0	3	3	0
31	25	38	76	74	74	264	229	262

3 資格取得状況

(令和6年度)

学 科 別	機械科	電子機械科	電気科	電子科	計
卒業生徒数	110	40	38	74	262
計算技術検定 1級				1	1
〃 2級	1			3	4
〃 3級	79	42	38	80	239
基礎製図検定	68	30	16	29	143
機械製図検定	39	20			59
CAD検定 初級		3		2	5
情報技術検定 1級				3	3
〃 2級		1	1	32	34
〃 3級	52	43	30	80	205
工業英検 3級					
工業英検 4級					
リスニング英検 1級					
〃 2級					
〃 3級					
電気工事士 第1種			15		15
〃 第2種			19		19
情報処理技術者試験 応用情報技術者					
〃 基本情報技術者				6	6
〃 ITパスポート				1	1
〃 情報セキュリティマネジメント				2	2
危険物取扱者 甲種					
〃 乙種4類	1	3	1	2	7
〃 乙種4類以外					
〃 丙種	2				2
工事担任者試験 第二種デジタル通信					
技能検定 普通旋盤作業2級	2				2
〃 普通旋盤作業3級	10			1	11
〃 フライス盤作業3級	2	1			3
〃 マシニングセンタ作業3級					
〃 機械組立仕上げ作業3級					
〃 電子機器組立て作業2級				1	1
〃 電子機器組立て作業3級				4	4
電気系保全作業2級					
電気系保全作業3級					
〃 機械系保全作業2級					
〃 機械系保全作業3級	56	6			62
〃 シーケンス制御作業2級					
〃 シーケンス制御作業3級		9			9
〃 機械検査作業2級	5				5
〃 機械検査作業3級	94	6		3	103
〃 機械製図CAD作業3級					
〃 機械製図手書き作業3級					
〃 テクニカルイラストレーション (CAD) 作業3級	2	1			3
合 計	413	165	120	250	948

□□□□□□

生徒の状況

1 生徒の出身地域及び通学方法

(1) 出身地 (令和7年7月31日現在) (単位：人)

市町名	浜松市	湖西市	磐田市	袋井市以東	その他	合計
生徒数	662	43	18	4	8	735
構成比%	90.1	5.9	2.4	0.5	1.1	100%

(2) 通学方法 (令和7年7月31日現在) (単位：人)

区分	自転車	電車	バス	徒歩	合計
生徒数	560	118	32	25	735
構成比%	76.2	16.1	4.3	3.4	100%

2 部（クラブ）の加入状況

(令和7年7月31日現在) (単位：人)

区分		運動部	文化部	未加入者	計
部(クラブ)数		12	13		25
男子	1年	137	102	0	239
	2年	118	97	9	224
	3年	97	107	24	228
	計(A)	352	306	33	691
	構成比	50.9	44.3	4.8	100%
女子	1年	3	10	0	13
	2年	6	9	2	17
	3年	4	5	5	14
	計(B)	13	24	7	44
	構成比	29.5	54.6	15.9	100%
(A+B)		365	330	40	735
合計	構成比	49.7	44.9	5.4	100%

□□□□□□□

授 業 料 収 納 状 況 調 査

(令和6年度)

異 動 者 等 の 状 況										
月 別	調 定 の 状 況				収 納 の 状 況			入 収 未 済 額		
	1 年		2 年		3 年		計		納 期 内 収 納 額	納 期 後 収 納 額
人 員	調 定 額	人 員	調 定 額	人 員	調 定 額	人 員		調 定 額		
4	人	円	人	円	人	円	人	円	%	円
5										
6										
7	44	1,296,900	39	1,158,300	40	1,188,000	123	3,643,200	97.6%	89,100
8										89,100
計	44	1,296,900	39	1,158,300	40	1,188,000	123	3,643,200	97.6%	89,100
7										
8										
9										
10	52	2,574,000	38	1,881,000	47	2,326,500	137	6,781,500	94.9%	346,500
11										297,000
12	▲ 3	▲ 148500	▲ 1	▲ 49500			▲ 4	▲ 198,000		49,500
1					▲ 1	▲ 49500	▲ 1	▲ 49,500		
計	49	2,425,500	37	1,831,500	46	2,277,000	132	6,534,000	98.5%	346,500
12										
1	48	1,900,800	37	1,465,200	47	1,831,500	132	5,197,500	97.0%	158,400
2			1	39,600						158,400
3			▲ 1	▲ 39,600						
計	48	1,900,800	37	1,465,200	47	1,831,500	132	5,197,500	97.0%	158,400
合計	141	5,623,200	113	4,455,000	133	5,296,500	387	15,374,700	3	594,000
D. 収納必要額＝ 15,374,700 円									0	

A. 期首収納権利発生額＝ 3,653,100 円
(123人×9,900×3月)
B. 収納権利増減 (▲) 額＝ 9,900 円
5月31日: 1年: 転学 ▲ 1人×9,900円×1月＝▲ 9,900
▲ 1人
C. 収納必要額
A-B＝ 3,643,200 円
A. 期首収納権利発生額＝ 6,781,500 円
(137人×9,900×5月)
B. 収納権利増減 (▲) 額＝ 247,500 円
12月4日: 1年: 就学支援金調及認定 ▲ 3人×9,900円×5月＝▲ 148,500
12月17日: 2年: 就学支援金調及認定 ▲ 1人×9,900円×5月＝▲ 49,500
▲ 2人
1月23日: 3年: 就学支援金調及認定 ▲ 1人×9,900円×5月＝▲ 49,500
▲ 1人
C. 収納必要額
A-B＝ 6,534,000 円
A. 期首収納権利発生額＝ 5,227,200 円
(132人×9,900×4月)
B. 収納権利増減 (▲) 額＝ 29,700 円
12月31日: 1年: 転学 ▲ 1人×9,900円×3月＝▲ 29,700
▲ 1人
11月21日: 2年: 転入 ▲ 1人×9,900円×4月＝ 39,600
1人
2月20日: 2年: 就学支援金調及認定 ▲ 1人×9,900円×4月＝▲ 39,600
C. 収納必要額
A-B＝ 5,197,500 円
D. 収納必要額＝ 15,374,700 円

令和7年度「該当なし」

歲入予算

調 況 状 行 執

(令和7年度)
(令和7年7月31日現在)

[illegible]

- 34 -

□□□□□□

県収入証紙により徴収した使用料及び手数料調

区 分	令和6年度	令和7年度 (令和7年7月31日現在)
	件 数	件 数
入学検定料	261	0

(注) 1 本表は出先機関において、該当がある場合に調製する。

2 「区分」欄は、使用料及び手数料の名称を記載する。

□□□□□□

現金出納調

浜松城北工業高等学校

(令和 6年度)

(令和 7年 5月31日現在)

区 分	受 入 額			払 出 額	残 高	出納員領収書 発行総額及び 枚 数	現金払込調書 兼領収書総額 及び枚 数
	越 高	受 高	計				
教育手数料	円 0	円 1,433,150	円 1,433,150	円 1,433,150	円 0	円 1,433,150 378 枚	円 1,433,150 91 枚
雑入	0	276,140	276,140	276,140	0	276,140 1 枚	276,140 1 枚
計	0	1,709,290	1,709,290	1,709,290	0	1,709,290 379 枚	1,709,290 92 枚

□□□□□□

現金出納調

浜松城北工業高等学校

(令和 7年度)

(令和 7年 7月31日現在)

区 分	受 入 額			払 出 額	残 高	出納員領収書 発行総額及び 枚 数	現金払込調書 兼領収書総額 及び 枚 数
	越 高	受 高	計				
教育手数料	円 0	円 1,438,800	円 1,438,800	円 1,438,800	円 0	円 1,438,800 293 枚	円 1,438,800 34 枚
計	0	1,438,800	1,438,800	1,438,800	0	1,438,800 293 枚	1,438,800 34 枚

□□□□□□

預 金 調

(令和7年7月31日現在)

金融機関名	預金種類	口座番号	口座名義人	残高 円	摘要
静岡銀行住吉支店	無利息型 普通預金	0021483	静岡県立浜松城北工業高等学校 資金前渡者 寺田弘隆	20,000	交際費・ 給与の資 金前渡用
静岡銀行住吉支店	無利息型 普通預金	0314998	(自振口)浜松城北工業高等学校 資金前渡者 寺田弘隆	0	光熱水費 等の口座 振替用
残 高 合 計				20,000	

□□□□□□□

調 査 受 払 等 券 郵

(令和7年7月31日現在)
(単位：枚、円)

区 分	種 類	6 年 度						7 年 度						摘要
		繰 越		受 入		払 出		繰 越		受 入		払 出		
		枚数	金 額	枚数	金 額	枚数	金 額	枚数	金 額	枚数	金 額	枚数	金 額	
郵 券	10円券	28	280	0	0	22	220	6	60	0	0	0	0	60
"	20円券	11	220	0	0	11	220	0	0	0	0	0	0	0
"	84円券	6	504	0	0	6	504	0	0	0	0	0	0	0
"	280円券	8	2,240	0	0	8	2,240	0	0	0	0	0	0	0
計		/	3,244	/	0	/	3,184	/	60	/	0	/	0	60

□□□□□□

歳入歳出外現金調

県立高校中学校 浜松城北工業高

(令和 6年度)
(令和 7年 3月31日現在)

区 分	越 高	受 高	払 高	残 高	摘 要
公立学校共済組合掛金 等	円 0	円 359,096	円 359,096	円 0	
所得税	18,747	399,845	394,945	23,647	
県市町村民税	14,700	61,800	74,700	1,800	
計	33,447	820,741	828,741	25,447	

□□□□□□

歳入歳出外現金調

県立高校中学校 浜松城北工業高

(令和 7年度)
(令和 7年 7月31日現在)

区 分	越 高	受 高	払 高	残 高	摘 要
公立学校共済組合掛金 等	円 0	円 123,146	円 123,146	円 0	
所得税	23,647	221,595	193,836	51,406	
県市町村民税	1,800	19,600	13,900	7,500	
計	25,447	364,341	330,882	58,906	

□□□□□□

歳出予算執行状況調

(令和 6年度)
(令和 7年 5月31日現在)

一般会計

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
款 11教育費	158,916,177	158,916,177	0	
項 02教育委員会費	5,518,465	5,518,465	0	
目 02教育総務費	19,665	19,665	0	
01報酬	19,665	19,665	0	
03非常勤職員報酬	19,665	19,665	0	
目 03教育管理費	5,378,800	5,378,800	0	
08旅費	20,000	20,000	0	
02普通旅費	20,000	20,000	0	
10需用費	3,581,750	3,581,750	0	
01その他の需用費	3,581,750	3,581,750	0	
11役務費	28,050	28,050	0	
14工事請負費	1,749,000	1,749,000	0	
目 04教育厚生費	120,000	120,000	0	
01報酬	120,000	120,000	0	
03非常勤職員報酬	120,000	120,000	0	
項 05高等学校費	132,285,002	132,285,002	0	
目 01高等学校総務費	23,564,387	23,564,387	0	
01報酬	14,748,533	14,748,533	0	
03非常勤職員報酬	14,748,533	14,748,533	0	
03職員手当等	2,491,997	2,491,997	0	
01その他の職員手当等	2,491,997	2,491,997	0	
04共済費	5,329,346	5,329,346	0	
02報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	5,329,346	5,329,346	0	
08旅費	994,511	994,511	0	
01その他の旅費	631,860	631,860	0	
02普通旅費	362,651	362,651	0	
目 02高等学校管理費	108,720,615	108,720,615	0	
01報酬	1,196,090	1,196,090	0	

□□□□□□

一般会計 (令和 6年度)
(令和 7年 5月31日現在)

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
03非常勤職員報酬	円 1,196,090	円 1,196,090	円 0	
04共済費	443	443	0	
02報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	443	443	0	
07報償費	0	0	0	
01その他の報償費	0	0	0	
08旅費	3,553,739	3,553,739	0	
01その他の旅費	11,503	11,503	0	
02普通旅費	3,542,236	3,542,236	0	
09交際費	10,000	10,000	0	
10需用費	14,577,870	14,577,870	0	
01その他の需用費	14,576,920	14,576,920	0	
02食糧費	950	950	0	
11役務費	1,648,160	1,648,160	0	
12委託料	3,046,681	3,046,681	0	
13使用料及び賃借料	141,652	141,652	0	
17備品購入費	1,999,140	1,999,140	0	
18負担金、補助及び交付金	73,679,240	73,679,240	0	
19扶助費	8,867,600	8,867,600	0	
項 07特別支援学校費	2,273,700	2,273,700	0	
目 02特別支援学校管理費	2,273,700	2,273,700	0	
12委託料	2,273,700	2,273,700	0	
項 08学校教育費	18,839,010	18,839,010	0	
目 01高校教育費	18,209,130	18,209,130	0	
01報酬	3,047,042	3,047,042	0	
03非常勤職員報酬	3,047,042	3,047,042	0	
04共済費	575,294	575,294	0	
02報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	575,294	575,294	0	
07報償費	275,173	275,173	0	

□□□□□□

一般会計

(令和 6年度)
(令和 7年 5月31日現在)

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
01その他の報償費	275,173	275,173	0	
08旅費	3,138,232	3,138,232	0	
01その他の旅費	2,577,567	2,577,567	0	
02普通旅費	560,665	560,665	0	
10需用費	512,789	512,789	0	
01その他の需用費	512,789	512,789	0	
11役務費	20,520	20,520	0	
13使用料及び賃借料	744,480	744,480	0	
17備品購入費	9,895,600	9,895,600	0	
目 04健康体育費	629,880	629,880	0	
07報償費	226,800	226,800	0	
01その他の報償費	226,800	226,800	0	
08旅費	480	480	0	
01その他の旅費	480	480	0	
11役務費	402,600	402,600	0	
計	158,916,177	158,916,177	0	

□□□□□□

歳出予算執行状況調

(令和 7年度)
(令和 7年 7月31日現在)

一般会計

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
款 12教育費	137,894,260	13,086,904	124,807,356	
項 02教育委員会費	3,254,000	443,410	2,810,590	
目 03教育管理費	3,134,000	443,410	2,690,590	
08旅費	40,000	0	40,000	
02普通旅費	40,000	0	40,000	
10需用費	2,004,000	443,410	1,560,590	
01その他の需用費	2,004,000	443,410	1,560,590	
14工事請負費	1,090,000	0	1,090,000	
目 04教育厚生費	120,000	0	120,000	
01報酬	120,000	0	120,000	
03非常勤職員報酬	120,000	0	120,000	
項 05高等学校費	120,239,440	10,165,259	110,074,181	
目 01高等学校総務費	20,054,000	5,401,657	14,652,343	
01報酬	11,981,000	3,555,317	8,425,683	
03非常勤職員報酬	11,981,000	3,555,317	8,425,683	
03職員手当等	2,106,000	884,602	1,221,398	
01その他の職員手当等	2,106,000	884,602	1,221,398	
04共済費	5,332,000	582,192	4,749,808	
02報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	5,332,000	582,192	4,749,808	
08旅費	635,000	379,546	255,454	
01その他の旅費	419,000	164,493	254,507	
02普通旅費	216,000	215,053	947	
目 02高等学校管理費	100,185,440	4,763,602	95,421,838	
01報酬	212,000	66,093	145,907	
03非常勤職員報酬	212,000	66,093	145,907	
04共済費	3,000	0	3,000	
02報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	3,000	0	3,000	
07報償費	50,000	8,000	42,000	

□□□□□□

一般会計

(令和 7年度)
(令和 7年 7月31日現在)

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
01 その他の報償費	50,000	8,000	42,000	
08 旅費	3,323,440	300,549	3,022,891	
01 その他の旅費	73,440	2,787	70,653	
02 普通旅費	3,250,000	297,762	2,952,238	
09 交際費	20,000	20,000	0	
10 需用費	15,124,000	3,218,805	11,905,195	
01 その他の需用費	15,123,000	3,218,805	11,904,195	
02 食糧費	1,000	0	1,000	
11 役務費	2,291,000	738,598	1,552,402	
12 委託料	3,920,000	38,500	3,881,500	
13 使用料及び賃借料	200,000	109,057	90,943	
17 備品購入費	1,242,000	242,000	1,000,000	
18 負担金、補助及び交付金	73,800,000	22,000	73,778,000	
項 07 特別支援学校費	2,275,680	0	2,275,680	
目 02 特別支援学校管理費	2,275,680	0	2,275,680	
12 委託料	2,275,680	0	2,275,680	
項 08 学校教育費	12,125,140	2,478,235	9,646,905	
目 01 高校教育費	11,482,540	1,997,635	9,484,905	
01 報酬	4,676,840	1,774,726	2,902,114	
03 非常勤職員報酬	4,676,840	1,774,726	2,902,114	
04 共済費	706,000	156,744	549,256	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	706,000	156,744	549,256	
07 報償費	370,580	30,000	340,580	
01 その他の報償費	370,580	30,000	340,580	
08 旅費	705,200	36,165	669,035	
01 その他の旅費	703,600	36,165	667,435	
02 普通旅費	1,600	0	1,600	
10 需用費	561,960	0	561,960	

□□□□□□

一般会計

(令和 7年度)
(令和 7年 7月31日現在)

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
01 その他の需用費	561,960	0	561,960	
13 使用料及び賃借料	161,960	0	161,960	
17 備品購入費	4,300,000	0	4,300,000	
目 04 健康体育費	642,600	480,600	162,000	
07 報償費	226,800	64,800	162,000	
01 その他の報償費	226,800	64,800	162,000	
11 役務費	415,800	415,800	0	
計	137,894,260	13,086,904	124,807,356	

□□□□□□

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

節 名	会 計	款	項	目	執 行 済 額 (円)		
					令和5年度	令和6年度	左のうち、令和5年度からの繰越額分
(12) 委託料	一般会計	教育費	教育委員会費	教育管理費	1,446,600	0	0
	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費	2,701,765	3,046,681	0
	一般会計	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費	2,270,400	2,273,700	0
計					6,418,765	5,320,381	0
(14) 工事請負費	一般会計	教育費	教育委員会費	教育管理費	7,403,000	1,749,000	0
計					7,403,000	1,749,000	0
(16) 公有財産購入費					0	0	0
計					0	0	0
(17) 備品購入費	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費	797,148	1,999,140	0
	一般会計	教育費	学校教育費	高校教育費	0	9,895,600	0
計					797,148	11,894,740	0
(18) 負担金、補助及び交付金	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費	75,927,750	73,679,240	0
計					75,927,750	73,679,240	0
(21) 補償、補填及び賠償金					0	0	0
計					0	0	0

□□□□□□

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

(令和7年7月31日現在)

節 名	会 計	款	項	目	執 行 済 額 (円)	
						左のうち、令和6年度からの繰越額分
(12) 委託料	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費	38,500	0
計					38,500	0
(14) 工事請負費					0	0
計					0	0
(16) 公有財産購入費					0	0
計					0	0
(17) 備品購入費	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費	242,000	0
計					242,000	0
(18) 負担金、補助及び交付金	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費	22,000	0
計					22,000	0
(21) 補償、補填及び賠償金					0	0
計					0	0

□□□□□□

委託料に関する調

(令和6年度)

整理 番号	委託業務名	受 託 者	当 初 設計金額	契 約 金 額			契約 締結 方法	契約期間	支出年月日	金 額	委託業務 の内容	摘要
				当初額	変更増減額	計						
1	(事務関係) 自家用電気 工作物保安 管理業務	遠鉄アシスト ㈱	円 5,552,580	円 4,755,960	円 295,361	円 5,051,321	一般	6. 4. 1 ～ 7. 3. 31	6. 10. 31 7. 4. 30 小計	円 2,516,855 2,534,466 5,051,321	浜松城北工業高 校ほか10校自家 用電気工作物保 安管理業務	浜松視覚特別支援学校 浜松聴覚特別支援学校 浜松東高校 浜名高校 浜松北西高校 浜北特別支援学校 浜松工業高校 西部特別支援学校 浜松湖北高校 浜松みをつくし特別支援学校
2	産業廃棄物 処理業務	㈱環吉	390,500 単価 39,050/回	単価 38,500/回	0	単価 38,500/回	随契	6. 4. 19 ～ 7. 3. 31	6. 9. 4 6. 12. 26 7. 3. 24 小計	38,500 38,500 77,000 154,000	産業廃棄物収 集運搬処分業 務	随契1号 (少額) 単価契約
3	産業廃棄物 (混合電池) 処理業務	日本産業廃 棄物処理㈱	39,050	39,050	0	39,050	随契	6. 12. 26 ～ 7. 3. 31	7. 3. 24 小計	39,050 39,050	産業廃棄物(混 合電池等)収 集運搬業務	随契1号 (少額)
4	産業廃棄物 (混合電池) 処理業務	㈱エスアール	24,200	24,200	0	24,200	随契	6. 12. 26 ～ 7. 3. 31	7. 3. 24 小計	24,200 24,200	産業廃棄物(混 合電池等)処 分業務	随契1号 (少額)
5	水銀使用製 品産業廃棄 物処理業務	中遠環境保 全株式会社	51,810	51,810	0	51,810	随契	7. 1. 8 ～ 7. 3. 31	7. 3. 14 小計	51,810 51,810	水銀使用製品 (蛍光灯)産業 廃棄物収集運 搬処分業務	随契1号 (少額)
	合 計	5 件	6,058,140							5,320,381		
参考 1	消防用設備 等保守点検 業務	静岡県消防 設備保守点 検協同組合		12,650,000	859	12,650,859		6. 4. 1 ～ 7. 3. 31			浜松商業高校 ほか10校 消防用設備等 保守点検業務	浜松商業高校
参考 2	可燃物収集 運搬処分業 務	環境保全㈱		単価 運搬料 715円/回 処分料 13.2円/kg	0	単価 運搬料 715円/回 処分料 13.2円/kg		6. 4. 8 ～ 7. 3. 31			浜松大平台高 校ほか14校 可燃物収集運 搬処分業務	浜松大平台高校 単価契約
参考 3	プール浄化 装置保守点 検業務	清化工業㈱		998,800	0	998,800		6. 4. 8 ～ 6. 12. 27			浜松東高校 ほか25校 プール浄化装 置保守点検業 務	浜松東高校
参考 4	警備業務	セコム㈱		10,164,000	0	10,164,000		1. 10. 1 ～ 6. 9. 30			浜松工業高校 ほか10校 機械警備業務	浜松工業高校
参考 5	警備業務	セコム㈱		14,256,000				6. 10. 1 ～ 11. 9. 30			浜松工業高校 ほか11校 機械警備業務	浜松工業高校
参考 6	建築基準法 第12条に基 づく定期点 検業務	(有)山口一級 建築士事務 所		2,200,000	0	2,200,000		6. 11. 22 ～ 7. 3. 24			建築基準法第 12条に基づく 定期点検業務	浜松北西高校
	計	6 件										

□□□□□□

委託料に関する調

(令和7年度)

(令和7月7月31日現在)

整理 番号	委託業務名	受託者	当初 設計金額	契 約 金 額			契約 締結 方法	契約期間	支出年月日	金 額	委託業務 の内容	摘要
				当初額	変更増減額	計						
1	(事務関係) 自家用電気 工作物保安 管理業務	遠鉄アシス ト㈱	5,864,760 円	5,212,680 円			一般	7. 4. 1 ～ 8. 3. 31			浜松城北工業 高校ほか10校 自家用電気工 作物保安管理 業務	浜松視覚特別支援学校 浜松聴覚特別支援学校 浜松東高校 浜名高校 浜北西高校 浜北特別支援学校 浜松工業高校 西部特別支援学校 浜松湖北高校 浜松みをつくし特別支援学校
2	産業廃棄物 処理業務	株式会社 環吉	484,000 単価 48,400/回	38,500/回 単価			随契	7. 4. 7 ～ 8. 3. 31	7. 7. 18 小計	38,500 38,500	産業廃棄物収 集運搬処分業 務	随契1号 (少額) 単価契約
合 計	2 件		6,348,760							38,500		
参考 1	消防用設備 等保守点検 業務	静岡県消防 設備保守点 検協同組合		12,540,000				7. 4. 1 ～ 8. 3. 31			浜松商業高校 ほか10校消防 用設備等保守 点検業務	浜松商業高校
参考 2	可燃物収集 運搬処分業 務	環境保全㈱		運搬料 770円/回 処分料 13.2円/kg				7. 4. 7 ～ 8. 3. 31			浜松大平台高 校ほか14校 可燃物収集運 搬処分業務	浜松大平台高校 単価契約
参考 3	プール浄化 装置保守点 検業務	清化工業㈱		995,500				7. 4. 10 ～ 7. 12. 26			浜松東高校ほ か23校プール 浄化装置保守 点検業務	浜松東高校
参考 4	警備業務	セコム㈱		14,256,000				6. 10. 1 ～ 11. 9. 30			浜松工業高校 ほか11校 機械警備業務	浜松工業高校
計	4 件											

□□□□□□

負担金支出調

(令和6年度)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	全国工業高等学校校長協会総会・研究協議会参加費	全国工業高等学校校長協会	開催通知による	第75回総会・研究協議会	5,000	6.4.26
2	全国高等学校校長協会総会・研究協議会参加費	全国高等学校校長協会	開催通知による	第76回総会・研究協議会	4,000	6.5.2
3	労働安全衛生法に基づく技能講習受講料	一般社団法人 浜松労働基準協会	開催通知による	ガス溶接技能講習	30,800	6.5.22
4	労働安全衛生法に基づく特別教育受講料	株式会社静岡県セイブ自動車学校	開催通知による	低圧電気取扱い業務特別教育	17,600	6.5.30
5	労働安全衛生法に基づく特別教育受講料	一般財団法人 関東電気保安協会沼津事業本部	開催通知による	高圧・特別高圧電気取扱業務特別教育	22,440	6.5.31
6	労働安全衛生法に基づく特別教育受講料	株式会社掛川自動車学校(掛川クレーン学校)	開催通知による	低圧電気取扱業務特別教育	45,000	6.5.31
7	労働安全衛生法に基づく特別教育受講料	清水労働基準協会	開催通知による	機械研削といし取替業務特別教育	17,100	6.6.3
8	東海地区工業高等学校校長教育研究会参加費	東海地区工業高等学校校長教育研究会	開催通知による	令和6年度教育研究会	2,000	6.6.17
9	東海四県高等学校校長生徒指導連絡協議会参加費	東海四県高等学校校長生徒指導連絡協議会	開催通知による	令和6年度連絡協議会	2,000	6.7.4

10	高等学校等就学 支援金	全日制高等学校 授業料 (第1期628名)	高等学校等就学 支援金の支給に 関する法律	高等学校に在籍 する生徒の授業 料に充てる	18,651,600	振替日 6.7.31
11	全国工業高等学 校長協会研究協 議会参加費	全国工業高等学 校長協会長	開催通知による	第72回研究協議 会	6,000	6.8.7
12	高等学校等就学 支援金	全日制高等学校 授業料 (第2期610名)	高等学校等就学 支援金の支給に 関する法律	高等学校に在籍 する生徒の授業 料に充てる	30,195,000	振替日 6.10.31
13	高等学校等就学 支援金	全日制高等学校 授業料 (第2期2名)	高等学校等就学 支援金の支給に 関する法律	高等学校に在籍 する生徒の授業 料に充てる	39,600	振替日 6.10.31
14	高等学校等就学 支援金	全日制高等学校 授業料 (第2期 3名)	高等学校等就学 支援金の支給に 関する法律	高等学校に在籍 する生徒の授業 料に充てる	148,500	振替日 6.12.13
15	高等学校等就学 支援金	全日制高等学校 授業料 (第2期 1名)	高等学校等就学 支援金の支給に 関する法律	高等学校に在籍 する生徒の授業 料に充てる	49,500	振替日 6.12.26
16	高等学校等就学 支援金	全日制高等学校 授業料 (第2期 1名)	高等学校等就学 支援金の支給に 関する法律	高等学校に在籍 する生徒の授業 料に充てる	49,500	振替日 7.1.29
17	高等学校等就学 支援金	全日制高等学校 授業料 (第3期615名)	高等学校等就学 支援金の支給に 関する法律	高等学校に在籍 する生徒の授業 料に充てる	24,354,000	振替日 7.1.31
18	高等学校等就学 支援金	全日制高等学校 授業料 (第3期1名)	高等学校等就学 支援金の支給に 関する法律	高等学校に在籍 する生徒の授業 料に充てる	39,600	振替日 7.2.28
計	18件				73,679,240	

□□□□□□

負担金支出調

(令和 7 年度)
(令和 7 年 7 月 31 日現在)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	全国工業高等学校校長協会総会・研究協議会参加費	公益社団法人全国工業高等学校校長協会	開催通知による	第76回総会・研究協議会	円 5,000	7. 4. 25
2	全国高等学校校長協会総会・研究協議会参加費	全国高等学校校長協会	開催通知による	第77回総会・研究協議会	4,000	7. 5. 14
3	東海地区工業高等学校校長教育研究会総会・研究協議会参加費	東海地区工業高等学校校長教育研究会	開催通知による	令和 7 年度総会・研究協議会	3,000	7. 7. 7
4	防火管理者講習受講料	一般財団法人日本防災・防火協会	開催通知による	甲種防火管理者新規講習	8,000	7. 7. 14
5	東海四県高等学校校長連絡協議会総会・研究協議会参加費	東海四県高等学校校長連絡協議会	開催通知による	令和 7 年度総会・研究協議会	2,000	7. 7. 23
計	5 件				22,000	

□□□□□□□

建 築 工 事 調 査

整理 番号	予算 科目	工事名	工事 箇所	当初設計金額	契 約 金 額			着 手 完成(予定) 年月日	支 出 済 額	工 事 概 要	公有 財産 台帳	摘 要
					当 初 額	変 更 増 減 額	計					
1	教育管理費	令和6年度静岡県立浜松城北工業高等 専門学校電話設備更新工事	浜松市 中央区 住吉地 内	1,870,000	1,749,000	0	1,749,000	R 6. 12. 24 R 7. 3. 9	1,749,000	電話設備更新工事一式	済	随契1号 (少額) 令達 R6. 12. 13 最終支払 R7. 4. 18
		合 計	1件	1,870,000	1,749,000	0	1,749,000		1,749,000			

□□□□□□□

建築工事調

(令和7年度)
(令和7年7月31日現在)

整理 番号	予算 科目	工事名	工事 箇所	当初設計金額	契約金額			契約 締結 方法	受注者	着 手 完成(予定) 年月日	支 出 済 額	工 事 概 要	公有 財産 台帳	摘 要
					当 初 額	変 更 増 減 額	計							
1	教育管理費	令和7年度静岡県立浜松城北工業高等学校電子実験棟他防火設備修繕工事	浜松市 中央区 住吉地 内	704,000	704,000			随契	セルコ㈱	R7.7.1 R7.9.5		防火設備修繕工事一式		随契1号 (少額) 合達 R7.6.11
		合 計	1件	704,000	704,000	0	0				0			

(参考)

整理 番号	予算 科目	工事名	工事 箇所	当初設計金額	契約金額			契約 締結 方法	受注者	着 手 完成(予定) 年月日	支 出 済 額	工 事 概 要	公有 財産 台帳	摘 要
					当 初 額	変 更 増 減 額	計							
1	教育管理費	令和7年度〔第37-Z1520-01号〕浜松城北工業高等学校新技術実習棟他屋根改修工事	浜松市 中央区 住吉地 内	83,534,000	76,780,000			入札	㈱原田総合計画	R7.8.18 R7.3.17		屋根改修工事一式		
		合 計	1件	83,534,000	76,780,000	0	0				0			

□□□□□□

公 有 財 産 調

(令和6年度)

区 分	令和6年3月31日現在		増		減		令和7年3月31日現在		摘要
	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	
行政財産		千円 3,138,054		千円 1,681		千円 23,955		千円 3,115,780	
土 地	m ² 55,254.91	2,919,790			m ²		m ² 55,254.91	2,919,790	
樹 木	本 187	3,257	本		本 1	20	本 186	3,237	
建 物	m ² <u>11,028.29</u> 19,183.30	179,775	m ²		m ²	20,121	m ² <u>11,028.29</u> 19,183.30	159,654	
工 作 物	個 92	35,232	個 1	1,681	個 1	3,814	個 92	33,099	
普通財産		35,895						33,578	
土 地	m ² 433.98	33,051	m ²		m ²		m ² 433.98	33,051	
建 物	m ² <u>128.47</u> 244.10	1,685	m ²		m ²	1,158	m ² <u>128.47</u> 244.10	527	
工 作 物	個 4	0	個		個		個 4	0	
公有財産に 準ずるもの		127						127	
電 話 加 入 権	件 6	127	件		件		件 6	127	

「令和7年度中増減なし」

□□□□□□

借 地 借 家 等 調

(令和7年7月31日現在)

整理 番号	区分	種別	所 在 地	地 目		数量又 は面積	借 料		契約期間	所有者又は 契約者氏名	用 途
				台帳	現況		単価	年 額			
1	建物	事務 所建	浜松市中央区住吉 5丁目307-4	鉄筋コンクリー ト造2階建		㎡ 359.45 579.71	円	無 償	7.4.1から 8.3.31まで	(一社)浜松城北工業 高等学校後援会長	生活館
2	建物	事務 所建	浜松市中央区住吉 5丁目16-1	鉄筋コンクリー ト造2階建		219.72 366.30		無 償	7.4.1から 8.3.31まで	(一社)浜松城北工業 高等学校後援会長	東部室
3	建物	倉庫 建	浜松市中央区住吉 5丁目155-1	鉄筋コンクリー ト造2階建		222.29 382.82		無 償	7.4.1から 8.3.31まで	(一社)浜松城北工業 高等学校後援会長	卓球・ブラ スバンド練 習場
4	建物	倉庫 建	浜松市中央区住吉 5丁目307-4	鉄骨造平屋建		33.99 33.99		無 償	7.4.1から 8.3.31まで	(一社)浜松城北工業 高等学校後援会長	北自転車置 場渡り廊下
5	建物	倉庫 建	浜松市中央区住吉 5丁目311-1	鉄骨造平屋建		20.40 20.40		無 償	7.4.1から 8.3.31まで	(一社)浜松城北工業 高等学校後援会長	野球部室
6	建物	雑屋 建	浜松市中央区住吉 5丁目155-1	鉄骨造平屋建		13.86 13.86		無 償	7.4.1から 8.3.31まで	(一社)浜松城北工業 高等学校後援会長	中庭中央 渡り廊下
7	建物	雑屋 建	浜松市中央区住吉 5丁目155-1	木造平屋建		18.21 17.39		無 償	7.4.1から 8.3.31まで	(一社)浜松城北工業 高等学校後援会長	リサイク ルステー ション
8	建物	工場 建	浜松市中央区住吉 5丁目16-1	鉄骨造平屋建		86.95 86.95		無 償	7.4.1から 8.3.31まで	(一社)浜松城北工業 高等学校後援会長	ものづくり ハウス
9	建物	事務 所建	浜松市中央区住吉 5丁目307-4	鉄骨造2階建		208.79 208.79		—	7.4.1から 8.3.31まで	静岡県立浜松特別 支援学校長	自動車整備 実習室
	計					1,183.66 1,710.21					
10	工作物	照明 装置	浜松市中央区住吉 5丁目307-4	水銀灯400W× 2灯×2柱		基 2		無 償	7.4.1から 8.3.31まで	(一社)浜松城北工業 高等学校後援会長	テニスコ ート照 明設備
11	工作物	雑工 作物	浜松市中央区住吉 5丁目307-4	物置		個 1		無 償	7.4.1から 8.3.31まで	(一社)浜松城北工業 高等学校後援会長	テニス部 用物置
12	工作物	電柱	浜松市中央区住吉 5丁目307-4	引込電柱		本 1		無 償	7.4.1から 8.3.31まで	(一社)浜松城北工業 高等学校後援会長	テニス部 用物置 電線引 込用電柱
13	工作物	冷暖房 装置	浜松市中央区住吉 5丁目16-1	空調設備		個 1		6,400,169	3.7.1から 16.6.30まで	三井住友ファイナ ンス&リース㈱	普通教室 空調設備
14	工作物	冷暖房 装置	浜松市中央区住吉 5丁目16-1	空調設備		個 1		4,337,515	6.7.1から 19.6.30まで	NTT・TCリース ㈱ 静岡支店	特別教室 空調設備
	計					6		10,737,684			

□□□□□□

行政財産貸付・使用許可調

(令和7年7月31日現在)

整理 番号	区分	種別	所 在 地	地目		数量又 は面積	貸付料又は使用料		貸付又は使 用許可期間	貸付又は使用許可を 受けた者の氏名	貸付・使用 許可目的
				台帳	現況		単価	年 額			
1	土地	学校敷地	浜松市中央区住吉5丁目16-1	学校用地	学校用地	㎡ 27.40		円 免 除	3. 4. 1から 8. 3. 31まで	浜松市長	歩道用地
2	土地	学校敷地	浜松市中央区住吉5丁目16-1	学校用地	学校用地	㎡ 300.00		円 免 除	3. 4. 1から 8. 3. 31まで	浜松市長	道路敷地
3	土地	学校敷地	浜松市中央区住吉5丁目16-1	学校用地	学校用地	㎡ 0.78		円 免 除	6. 4. 1から 11. 3. 31まで	浜松市長	避難地標識板用地
4	土地	学校敷地	浜松市中央区住吉5丁目16-1	学校用地	学校用地	㎡ 0.36		円 免 除	3. 4. 1から 8. 3. 31まで	浜松市長	反射鏡用地
5	土地	学校敷地	浜松市中央区住吉5丁目16-1	学校用地	学校用地	㎡ 0.29		円 免 除	6. 4. 1から 11. 3. 31まで	浜松市水道事業及び 下水道事業管理者	反射鏡用地
6	土地	学校敷地	浜松市中央区住吉5丁目16-1	学校用地	学校用地	㎡ 0.25		円 免 除	6. 4. 1から 11. 3. 31まで	浜松市水道事業及び 下水道事業管理者	災害復旧資材 置場看板用地
7	土地	学校敷地	浜松市中央区住吉5丁目16-1	学校用地	学校用地	本 7	1,500	10,500	5. 4. 1から 10. 3. 31まで	西日本電信電話(株) 静岡支店長	電柱及び支 線用地
8	土地	学校敷地	浜松市中央区住吉5丁目16-1	学校用地	学校用地	本 9	1,500	13,500	4. 4. 1から 9. 3. 31まで	中部電力パワーグリッド(株)浜松営業所長	電柱及び支 線用地
9	土地	学校敷地	浜松市中央区住吉5丁目16-1	学校用地	学校用地	㎡ 222.29		円 免 除	3. 4. 1から 8. 3. 31まで	(一社)浜松城北工業高校後援会長	卓球・プラスパ ンド練習場用地
10	土地	学校敷地	浜松市中央区住吉5丁目16-1	学校用地	学校用地	㎡ 219.72		円 免 除	3. 4. 1から 8. 3. 31まで	(一社)浜松城北工業高校後援会長	部室用地
11	土地	学校敷地	浜松市中央区住吉5丁目16-1	学校用地	学校用地	㎡ 20.40		円 免 除	3. 4. 1から 8. 3. 31まで	(一社)浜松城北工業高校後援会長	野球部部室 用地
12	土地	学校敷地	浜松市中央区住吉5丁目16-1	学校用地	学校用地	㎡ 13.86		円 免 除	3. 4. 1から 8. 3. 31まで	(一社)浜松城北工業高校後援会長	中庭中央渡 り廊下用地
13	土地	学校敷地	浜松市中央区住吉5丁目16-1	学校用地	学校用地	㎡ 34.50		円 免 除	3. 4. 1から 8. 3. 31まで	(一社)浜松城北工業高校後援会長	リサイクルス テーション用地
14	土地	学校敷地	浜松市中央区住吉5丁目16-1	学校用地	学校用地	㎡ 99.38		円 免 除	3. 4. 1から 8. 3. 31まで	(一社)浜松城北工業高校後援会長	ものづくり ハウス用地
15	土地	学校敷地	浜松市中央区住吉5丁目16-1	学校用地	学校用地	㎡ 2		2,570	7. 4. 1から 10. 3. 31まで	(一社)浜松城北工業高校後援会長	自動販売機 用地
16	建物	事務所建	浜松市中央区住吉5丁目16-1	RC造	RC造	㎡ 26.85		円 免 除	7. 4. 1から 10. 3. 31まで	(一社)浜松城北工業高校後援会長	購買
17	建物	事務所建	浜松市中央区住吉5丁目16-1	RC造	RC造	㎡ 1		1,200	7. 4. 1から 10. 3. 31まで	(一社)浜松城北工業高校後援会長	自動販売機用地
18	建物	事務所建	浜松市中央区住吉5丁目16-1	RC造	RC造	㎡ 1		1,200	7. 4. 1から 10. 3. 31まで	(一社)浜松城北工業高校後援会長	自動販売機用地
19	土地	学校敷地	浜松市中央区住吉5丁目16-1	学校用地	学校用地	㎡ 5.38		円 免 除	3. 4. 1から 8. 3. 31まで	浜松城北工業高等学校同窓会長	校名看板用地
20	土地	学校敷地	浜松市中央区住吉5丁目16-1	学校用地	学校用地	㎡ 2.16		円 免 除	3. 4. 1から 8. 3. 31まで	(一社)浜松城北工業高校後援会長	テニスコート 照明設備用地
21	土地	学校敷地	浜松市中央区住吉5丁目16-1	学校用地	学校用地	㎡ 359.45		円 免 除	3. 4. 1から 8. 3. 31まで	(一社)浜松城北工業高校後援会長	生活館用地
22	土地	学校敷地	浜松市中央区住吉5丁目16-1	学校用地	学校用地	㎡ 33.99		円 免 除	3. 4. 1から 8. 3. 31まで	(一社)浜松城北工業高校後援会長	渡り廊下用地
23	土地	学校敷地	浜松市中央区住吉5丁目16-1	学校用地	学校用地	㎡ 8.73		円 免 除	3. 4. 1から 8. 3. 31まで	(一社)浜松城北工業高校後援会長	テニス部物 置用地
24	土地	学校敷地	浜松市中央区住吉5丁目16-1	学校用地	学校用地	㎡ 0.09		円 免 除	3. 4. 1から 8. 3. 31まで	(一社)浜松城北工業高校後援会長	テニス部物置 用電柱用地
25	土地	学校敷地	浜松市中央区住吉5丁目16-1	学校用地	学校用地	㎡ 2.27		円 免 除	3. 4. 1から 8. 3. 31まで	浜松城北工業高等学校同窓会長	ソーラー発電自 立型照明灯用地
26	土地	学校敷地	浜松市中央区住吉5丁目16-1	学校用地	学校用地	㎡ 0.25		円 免 除	6. 4. 1から 11. 3. 31まで	浜松市長	街路灯用地
27	建物	事務所建	浜松市中央区住吉5丁目16-1	RC造	RC造	㎡ 3.30		円 免 除	3. 4. 1から 8. 3. 31まで	浜松城北工業高校父母教師会長	進路補助員 業務場所
28	建物	事務所建	浜松市中央区住吉5丁目16-1	RC造	RC造	㎡ 3.30		円 免 除	3. 4. 1から 8. 3. 31まで	浜松城北工業高校父母教師会長	図書補助員 業務場所
29	工作物	囲障	浜松市中央区住吉5丁目16-1			㎡ 0.22		円 免 除	4. 10. 1から 9. 3. 31まで	浜松市長	住居表示街区表示板設置3箇所
30	建物	工場建	浜松市中央区住吉5丁目16-1	RC造他	RC造他	㎡ 1165.32		円 免 除	6. 6. 8から 6. 8. 10まで	静岡県職業能力開発協会	検定会場
31	建物	工場建	浜松市中央区住吉5丁目16-1	RC造他	RC造他	㎡ 2223.64		円 免 除	6. 12. 21から 7. 2. 16まで	静岡県職業能力開発協会	検定会場
合 計								28,970			

□□□□□□

普通財産・借受財産等貸付調

(令和7年7月31日現在)

整理 番号	区分	種別	所 在 地	地 目		数量又 は面積	貸付料又は使用料		貸付又は使 用許可期間	貸付又は使用許可 を受けた者の氏名	貸付・使用 許可目的
				台帳	現況		単価	年 額			
1	土地	学校 敷地	浜松市中央区住吉 5丁目16-1	学校 用地	学校 用地	m ² 958.21		免 除	7.4.1から 8.3.31まで	静岡県立浜松特別 支援学校長	城北分校建 物敷地
2	土地	学校 敷地	浜松市中央区住吉 5丁目16-1	学校 用地	学校 用地	m ² 5.67		免 除	7.4.1から 8.3.31まで	静岡県立浜松特別 支援学校長	城北分校倉 庫敷地
3	土地	学校 敷地	浜松市中央区住吉 5丁目16-1	学校 用地	学校 用地	m ² 41.19		免 除	7.4.1から 8.3.31まで	静岡県立浜松特別 支援学校長	城北分校駐 輪場敷地
4	土地	学校 敷地	浜松市中央区住吉 5丁目16-1	学校 用地	学校 用地	m ² 3.64		免 除	7.4.1から 8.3.31まで	静岡県立浜松特別 支援学校長	城北分校倉 庫敷地
5	土地	住宅 敷地	浜松市中央区上島 6丁目30-18	宅地	宅地	本 1	円 1,500	円 1,500	4.4.1から 9.3.31まで	中部電力パワーグ リッド(株)浜松営業所 長	電柱用地
6	建物	事務 所建	浜松市中央区住吉 5丁目16-1	RC造	RC造	m ² 131.40		免 除	7.4.1から 8.3.31まで	静岡県立浜松特別 支援学校長	分校教室と して使用
合 計								1,500			

□□□□□□

職員公舎管理状況調

(令和7年7月31日現在)

整理 番号	所 在 地	建築年月	構 造	管理戸 (室)数 (A)	入居 (室)数 (B)	Bの内他事 務所職員入 居戸(室)数	空家(室)数(A -B)	摘 要
1	浜松市中央区上 島6丁目30-18	昭54.3	RC造 陸屋根 2階建	4	2	1	2	【空家戸数内訳】 令和6年8月28日～ 1戸 令和6年9月1日～ 1戸 小笠高等学校職員1戸入居
	計			4	2	1	2	

備 品・図 書 調

(令和 6年度)

所属 0000220929 県立高校・中学校 浜松城北工業高等学校

区 分	令和 6年 3月31日 現在	増		減		令和 7年 3月31日 現在
		数 量	購 入 価 格 (円)	数 量	売 却 価 格 (円)	
01- 01 机類	7	(0) 0	0	(0) 0	0	7
01- 02 台類	27	(0) 0	0	(0) 0	0	27
01- 03 いす類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
01- 04 収納保管庫類	73	(0) 0	0	(0) 0	0	73
01- 05 印刷機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
01- 07 書類整理器具類	7	(0) 0	0	(0) 1	0	6
01- 10 印判類	4	(0) 0	0	(0) 0	0	4
01- 13 厨房器具類	5	(0) 0	0	(0) 0	0	5
01- 99 その他の庁用器具類	49	(0) 0	0	(0) 0	0	49
02- 01 情報処理機器類	501	(0) 14	9, 928, 380	(0) 4	28, 600	511
02- 02 情報伝達機器類	17	(0) 0	0	(0) 0	0	17
02- 03 再生機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
03- 01 撮影機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
03- 02 観察・観測用光学機器類	4	(0) 0	0	(0) 0	0	4
03- 03 視覚用再生等機器類	7	(0) 0	0	(0) 0	0	7
04- 01 診療・診断用機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
04- 02 衛生検査用機器類	7	(0) 0	0	(0) 0	0	7
05- 01 強度（物性）試験計測機器類	7	(0) 0	0	(0) 0	0	7
05- 02 波動・熱試験計測機器類	6	(0) 0	0	(0) 0	0	6

備品・図書調

2 / 2 頁
(令和 6年度)

所属 0000220929 県立高校・中学校 浜松城北工業高等学校

区 分	令和 6年 3月31日 現在	増		減		令和 7年 3月31日 現在
		数 量	購 入 価 格 (円)	数 量	売 却 価 格 (円)	
05-03 電気試験計測機器類	61	(0) 0	0	(0) 0	0	61
05-04 分析化学機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
05-07 測量機器類	4	(0) 0	0	(0) 0	0	4
05-08 度量衡測定機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
05-10 身体測定用機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
05-99 その他の試験計測機器類	38	(0) 43	504,790	(0) 2	0	79
06-02 金属加工用機器類	111	(0) 12	1,104,400	(0) 1	0	122
06-04 電気電子機器類	41	(0) 0	0	(0) 0	0	41
06-06 炉・ボイラー加熱装置類	6	(0) 0	0	(0) 0	0	6
06-99 その他の諸機器類	14	(0) 0	0	(0) 0	0	14
08-01 車両類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
10-05 生物物理化学用器具類	12	(0) 5	357,170	(0) 0	0	17
10-06 家庭科用器具類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
10-07 音楽用器具類	6	(0) 0	0	(0) 0	0	6
10-12 体育保健用器具類	10	(4) 4	0	(0) 1	0	13
10-99 その他の教育用器具類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
50-01 図書	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
計	1,043	(4) 78	11,894,740	(0) 9	28,600	1,112

備 品 ・ 図 書 調

(令和 7年度)

所属 0000220929 県立高校・中学校 浜松城北工業高等学校

区 分	令和 7年 3月31日 現在	増		減		令和 7年 7月31日 現在
		数 量	購 入 価 格 (円)	数 量	売 却 価 格 (円)	
01-01 机類	7	(0) 0	0	(0) 0	0	7
01-02 台類	27	(0) 0	0	(0) 0	0	27
01-03 いす類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
01-04 収納保管庫類	73	(0) 0	0	(0) 0	0	73
01-05 印刷機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
01-07 書類整理器具類	6	(0) 0	0	(0) 0	0	6
01-10 印判類	4	(0) 0	0	(0) 0	0	4
01-13 厨房器具類	5	(0) 0	0	(0) 0	0	5
01-99 その他の庁用器具類	49	(0) 0	0	(0) 0	0	49
02-01 情報処理機器類	511	(0) 0	0	(0) 0	0	511
02-02 情報伝達機器類	17	(0) 0	0	(0) 0	0	17
02-03 再生機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
03-01 撮影機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
03-02 観察・観測用光学機器類	4	(0) 0	0	(0) 0	0	4
03-03 視覚用再生等機器類	7	(0) 0	0	(0) 0	0	7
04-01 診療・診断用機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
04-02 衛生検査用機器類	7	(0) 0	0	(0) 0	0	7
05-01 強度（物性）試験計測機器類	7	(0) 0	0	(0) 0	0	7
05-02 波動・熱試験計測機器類	6	(0) 0	0	(0) 0	0	6

備 品・図 書 調

(令和 7年度)

所属 0000220929 県立高校・中学校 浜松城北工業高等学校

区 分	令和 7年 3月31日 現在	増		減		令和 7年 7月31日 現在
		数 量	購 入 価 格 (円)	数 量	売 却 価 格 (円)	
05-03 電気試験計測機器類	61	(0) 0	0	(0) 0	0	61
05-04 分析化学機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
05-07 測量機器類	4	(0) 0	0	(0) 0	0	4
05-08 度量衡測定機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
05-10 身体測定用機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
05-99 その他の試験計測機器類	79	(0) 2	242,000	(0) 0	0	81
06-02 金属加工用機器類	122	(0) 0	0	(0) 0	0	122
06-04 電気電子機器類	41	(0) 2	0	(0) 0	0	43
06-06 炉・ボイラー加熱装置類	6	(0) 0	0	(0) 0	0	6
06-99 その他の諸機器類	14	(0) 0	0	(0) 0	0	14
08-01 車両類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
10-05 生物物理化学用器具類	17	(0) 0	0	(0) 0	0	17
10-06 家庭科用器具類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
10-07 音楽用器具類	6	(0) 0	0	(0) 0	0	6
10-12 体育保健用器具類	13	(0) 0	0	(0) 0	0	13
10-99 その他の教育用器具類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
50-01 図書	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
計	1,112	(0) 4	242,000	(0) 0	0	1,116

主 要 備 品 調

(令和 7 年 7 月 31 日現在)

整理 番号	区分		品 名・規 格	利用状況	購 入 年 月	購 入 金 額
	大・中	小				
1	06-02	金属加工工作機 器	N C加工装置 N Cフライス盤 3台	週 3 日(年間105日) 機械科 2 年実習で使用	平成14年 2 月	円 30,238,215
2	05-03	電気試験計測機 器	電力供給実習装 置 風力・太陽 光発電設備	週 1 日(年間35日) 電気科 3 年課題研究で 使用	平成12年 3 月	28,140,000
3	05-03	電気試験計測機 器	送電制御実習装 置 監視・制御 デスク設備他	週 1 日(年間35日) 電気科 3 年課題研究で 使用	平成12年 3 月	24,465,925
4	05-99	試験実験機器	太陽光発電装置 太陽電池発電シ ステム	週 4 日(年間140日) 電子科 3 年実習、課題 研究で使用	平成10年 3 月	24,333,015
5	02-01	パーソナルコン ピュータ (一式)	コンピュータグ ラフィック実習 装置	週 5 日(年間175日) 電子科 1 年工業技術基 礎、2・3 年実習、課 題研究で使用	平成13年 3 月	17,023,216
6	02-01	パーソナルコン ピュータ (一式)	自動設計加工実 習装置	週 4 日(年間140日) 電子科 2 年製図、3 年 課題研究で使用 技術系部活で使用	令和 4 年 1 月	16,082,000
7	05-03	電気試験計測機 器	高電圧試験装置 パルス電子技術 (株製一式)	週 1 日(年間 35 日) 電気科 2 年実習で使用	平成 8 年 3 月	15,965,000
8	06-02	金属加工工作機 器	マシニングセン タ 静岡鐵工所 D T-3 0 N 3 台	週 2 日(年間40日) 電子機械科 2・3 年実 習、技能検定練習で使 用 技術系部活で使用	令和 3 年11月	15,521,000
9	02-01	パーソナルコン ピュータ (一式)	3 Dモデリング 装置	週 4 日(年間210日) 電気科 3 年課題研究、 選択科目で使用	令和 4 年 1 月	14,949,000
10	02-01	パーソナルコン ピュータ (一式)	情報基礎実習装 置	週 5 日(年間 175 日) 工業 2 科の 1 年工業技 術基礎、3 年プログラ ミング技術、課題研究 等で使用	平成12年 1 月	14,744,520

整理 番号	区分		品 名・規 格	利用状況	購 入 年 月	購 入 金 額
	大・中	小				
11	02-01	パーソナルコンピュータ (一式)	自動設計製図装置 ML310e Gen8 v2他	週5日(年間175日) 工業2科3年製図、実習、課題研究で使用	平成27年3月	14,688,000
12	06-02	金属加工工作機器	マシニングセンタ MAZAK VCN430A SMOOTHC	週3日(年間105日) 機械科2・3年実習、課題研究で使用 技術系部活で使用	令和4年3月	13,134,000
13	05-99	試験実験機器	高度計測制御システム 富士通 OA、LabVIEW他	週1日(年間35日) 電子科3年実習で使用	平成8年3月	12,380,833
14	06-06	炉	鋳鉄溶解炉 高温用可傾式	週1日(年間35日) 機械科1年実習で使用	平成6年3月	12,360,000
15	06-02	金属加工工作機器	ワイヤー放電加工機 ソディック VL400L	週3日(年間105日) 機械科3年実習で使用	令和4年2月	12,100,000
16	06-02	金属加工工作機器	歯切盤 北井産業 8-FH	週3日(年間105日) 機械科2年実習で使用	平成9年2月	11,072,500
17	05-07	距離・長さ測量機器	三次元測定機 ミットヨ BHN506	週3日(年間105日) 機械科2年実習で使用	平成6年3月	10,094,000
18	06-02	金属加工工作機器	歯切盤 オーエ 鉄工 180S	週3日(年間105日) 機械科2年実習で使用	平成6年3月	9,888,000
19	06-06	炉	加熱炉 サーマル ブリネルTL-4XD	週3日(年間105日) 機械科2年実習で使用	平成10年3月	9,828,000
20	05-03	電気試験計測機器	電気機器実験装置 精工社 誘導電動機・ 電動発電機	週1日(年間35日) 電気科2年実習で使用	平成7年3月	9,785,000

□□□□□□

職 員 調

(令和7年7月31日現在)

整理 番号	職 名	氏 名	事務分担	住 所	勤務年数	摘 要
1	校長	寺田 弘隆		□□□	□年□月	□□□
2	副校長	廣野 仁志		□□□	□年□月	□□□
3	教頭	岡本 研	地歴公民	□□□	□年□月	□□□
4	事務長	手塚 智子		□□□	□年□月	□□□
5	教諭	井口 嗣浩	数学	□□□	□年□月	□□□
6	教諭	佐野 剛史	理科	□□□	□年□月	□□□
7	教諭	福井 一恭	(電子)	□□□	□年□月	□□□
8	教諭	山本 晃弘	英語	□□□	□年□月	□□□
9	教諭	内山 章	数学	□□□	□年□月	□□□
10	教諭	池谷 守之	保健体育	□□□	□年□月	□□□
11	教諭	松井 和弘	保健体育	□□□	□年□月	□□□
12	教諭	森下 博正	(電子)	□□□	□年□月	□□□
13	教諭	羽切 政人	保健体育	□□□	□年□月	□□□
14	教諭	浜田 俊則	保健体育	□□□	□年□月	□□□
15	教諭	曾我 和輝	(機械)	□□□	□年□月	□□□
16	教諭	杉本 敏明	(電子)	□□□	□年□月	□□□
17	教諭	岩崎 真路	英語	□□□	□年□月	□□□
18	教諭	増山 隆博	地歴公民	□□□	□年□月	□□□
19	教諭	佐藤 雅年	(機械)	□□□	□年□月	□□□
20	教諭	高原 貴	(電気)	□□□	□年□月	□□□
21	教諭	倉本 徹	(電気)	□□□	□年□月	□□□
22	教諭	曾根 隆志	(電子機械)	□□□	□年□月	□□□
23	教諭	小倉 好尋	地歴公民	□□□	□年□月	□□□
24	教諭	吉田 泰子	英語	□□□	□年□月	□□□
25	教諭	村野 寿夫	(電子)	□□□	□年□月	□□□
26	教諭	青島 一弘	国語	□□□	□年□月	□□□
27	教諭	松本 憲雅	(電子機械)	□□□	□年□月	□□□
28	教諭	太田 康二	数学	□□□	□年□月	□□□
29	教諭	山口 貴士	数学	□□□	□年□月	□□□
30	教諭	乾 浩二	保健体育	□□□	□年□月	□□□
31	教諭	青嶋 敬	(電気)	□□□	□年□月	□□□
32	教諭	岡 裕	数学	□□□	□年□月	□□□
33	教諭	市川 圭一	(電子)	□□□	□年□月	□□□
34	教諭	戸田 悠介	(機械)	□□□	□年□月	□□□
35	教諭	林 祐貴	(機械)	□□□	□年□月	□□□
36	教諭	美馬 正和	(電子機械)	□□□	□年□月	□□□
37	教諭	宮澤 竜太	(機械)	□□□	□年□月	□□□
38	教諭	川端 常弘	保健体育	□□□	□年□月	□□□
39	教諭	藤田 匠	(機械)	□□□	□年□月	□□□
40	教諭	足立 美希	家庭	□□□	□年□月	□□□

41	教諭	吉山 知宏	(電気)	□□□	□年□月	□□□
42	教諭	高木聡一郎	地歴公民	□□□	□年□月	□□□
43	教諭	中根 佳亮	国語	□□□	□年□月	□□□
44	教諭	柳澤 拓真	(電気)	□□□	□年□月	□□□
45	教諭	山崎 陽介	理科	□□□	□年□月	□□□
46	教諭	山下 直人	理科	□□□	□年□月	□□□
47	教諭	西谷 静姫	(電子)	□□□	□年□月	□□□
48	教諭	浅岡大士郎	(電子)	□□□	□年□月	□□□
49	教諭	杉本 就平	(機械)	□□□	□年□月	□□□
50	教諭	山本 優花	国語	□□□	□年□月	□□□
51	教諭	泉 百 葉	英語	□□□	□年□月	□□□
52	教諭	河合 悦次	(機械)	□□□	□年□月	□□□
53	教諭	山本 鮎香	地歴公民	□□□	□年□月	□□□
54	教諭	井尻 康太	(電子機械)	□□□	□年□月	□□□
55	教諭	新 裕 也	(電子)	□□□	□年□月	□□□
56	教諭	脇谷 至恩	(電子)	□□□	□年□月	□□□
57	教諭	村上 恵右	保健体育	□□□	□年□月	□□□
58	教諭	大 石 匠	(電子)	□□□	□年□月	□□□
59	教諭	村松 進一	(電子機械)	□□□	□年□月	□□□
60	教諭	井上 浩志	(機械)	□□□	□年□月	□□□
61	教諭	矢部 真吾	(機械)	□□□	□年□月	□□□
62	養護教諭	竹井 綾子	保健	□□□	□年□月	□□□
63	実習助手	花田 英男	(電子)	□□□	□年□月	□□□
64	実習助手	伊藤 剛史	(電気)	□□□	□年□月	□□□
65	実習助手	杉山 嘉音	(電子機械)	□□□	□年□月	□□□
66	主査	山本 真之	管財	□□□	□年□月	□□□
67	主査	小澤麻衣子	会計	□□□	□年□月	□□□
68	主事	阿部 紘夢	庶務会計	□□□	□年□月	□□□
69	技能長	今西 武人	環境整備	□□□	□年□月	□□□
平均年数					4年8月	

臨時・会計年度任用職員

整理 番号	職 名	氏 名	事 務 分 担	住 所	勤務年数	摘 要
1	教諭（臨時）	原 田 幸 則	（電子機械）	□□□	□年□月	□□□
2	教諭（臨時）	桂 智 明	（電子機械）	□□□	□年□月	□□□
3	教諭（臨時）	寺 田 一 英	（機械）	□□□	□年□月	□□□
4	主事（臨時）	藤 森 泰 代	庶務会計	□□□	□年□月	□□□
5	会計年度任用職員 （非常勤講師）	市 川 敏 高	国語	□□□	□年□月	□□□
6	会計年度任用職員 （非常勤講師）	横 山 郁 乃	音楽	□□□	□年□月	□□□
7	会計年度任用職員 （非常勤講師）	乾 久 子	美術	□□□	□年□月	□□□
8	会計年度任用職員 （非常勤講師）	奥 棋 子	書道	□□□	□年□月	□□□
9	会計年度任用職員 （非常勤講師）	詫 摩 恵 子	家庭	□□□	□年□月	□□□
10	会計年度任用職員 （非常勤講師）	大久保まゆみ	家庭	□□□	□年□月	□□□
11	会計年度任用職員 （非常勤講師）	南 部 秀 樹	（工業）	□□□	□年□月	□□□
12	会計年度任用職員 （非常勤講師）	飯 尾 美 行	（機械）	□□□	□年□月	□□□
13	会計年度任用職員 （非常勤講師）	金 原 秀 典	（機械）	□□□	□年□月	□□□
14	会計年度任用職員 （非常勤講師）	宮 島 康 宏	（機械）	□□□	□年□月	□□□
15	会計年度任用職員 （非常勤講師）	倉 田 重 光	（電子機械）	□□□	□年□月	□□□
16	会計年度任用職員 （非常勤講師）	伊 藤 節 夫	（電気）	□□□	□年□月	□□□
17	会計年度任用職員 （非常勤講師）	渡 邊 洋 二	（電気）	□□□	□年□月	□□□
18	会計年度任用職員 （非常勤講師）	谷 口 眞 通	（電子）	□□□	□年□月	□□□
19	会計年度任用職員 （非常勤講師）	山 屋 宏	（電子）	□□□	□年□月	□□□
20	会計年度任用職員 （非常勤労務職員）	鈴 木 礼 三		□□□	□年□月	□□□
21	会計年度任用職員 （非常勤労務職員）	原 野 陽 子		□□□	□年□月	□□□
22	会計年度任用職員 （非常勤嘱託員）	鷹 野 か を り		□□□	□年□月	□□□
23	会計年度任用職員 （外国語指導講師）	ミレヤ・フルートス	英語	□□□	□年□月	□□□
24	学校医	鈴 木 保 孝	内科	□□□	□年□月	□□□
25	学校医	畠 山 眞 行	眼科	□□□	□年□月	□□□
26	学校医	鳥 居 智 子	耳鼻科	□□□	□年□月	□□□
27	学校歯科医	小 澤 仁	歯科	□□□	□年□月	□□□
28	学校薬剤師	澤 田 由 紀 子	薬剤師	□□□	□年□月	□□□

□□□□□□

職 員 の 年 齢 調

(令和7年7月31日現在)

年 齢		人 員	摘 要
20 歳未満		0 人	
20 歳以上	30 歳未満	8	
30 歳以上	40 歳未満	14	
40 歳以上	50 歳未満	10	
50 歳以上	56 歳未満	10	
56 歳以上	61 歳未満	15	
61 歳以上		12	暫定再任用職員10人
計		69	平均年齢 48.1歳

□□□□□□

健 康 管 理

1 令和6年度受診状況

区 分	内 容
受診状況	受診者数 72 人
	職員数 72 人
受診率	100.0 %
県平均受診率	100.0 %

(1) 未受診の理由

2 令和7年度在籍者の健康管理区分結果

健 康 管 理 区 分			人 数
A	休養のため必要な期間、勤務を休止させる。		1(1)人
B 1	勤務時間を短縮し、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張をさける。また、必要に応じ勤務場所、勤務内容の変更を行う。	要治療	0人
B 2		要経過観察	0人
C 1	勤務をほぼ平常に行ってよいが症状によっては、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張等勤務に制限を加える必要がある。	要治療	0人
C 2		要経過観察	0人
D 1	平常の勤務でよい。	要治療	28(28)人
D 2		要経過観察	8(8)人
D 3		医療不要	30(30)人
区 分 者 計			67(67)人
未 区 分 者 数			2人
合 計			69(67)人

(1) 管理区分A～C 2 該当者に対する措置状況

(2) 未区分の理由

ア □□□ □人
 イ □□□ □人
 ウ □□□ □人
 エ □□□ □人
 ()